明治三十七年五月七日第三種郵便物認可
大正十一年四月一日發行（毎月一回一日發行）

THE Y.W.C.A. MONTHLY

女子青年界

四月號

女子青年界第十九卷四月號

三浦郁之助著

生活と道徳

四六判二五八頁・定價壹圓五十錢・送料十錢

人は如何にして道徳を行ふことが出來るか

如何なる道徳を行ふて生活すべきか

此の書は著者が多年の生活において、教へられたる道徳や、實驗したる道徳に、その時々の感想を交へて、書きしるしたるものにして、生活に關係ある、教育、宗教、家庭、政治、商工業、勞働などにつきて、可なり根本的に解決を與へてあります。敍述の方法は、從來の形式より脫して、生活と道徳との關係が、如何にも面白く說き示されてをります。

記載事項壹百のうちより

天地のことば　法然と念佛　苦痛と光明　植物の根　亡き母の感化　雀のクリスマス　生活と音樂　電話の應對

三様の生活　宇宙大の寫眞機　時間と人　草取哲學　母の日　涙の壺　其の日のこと　汽車の窓

淺ましき人心　蝸牛の友情　學問と貯金　青年と讀書　家庭と犯罪　個人と社會　自治の習慣　人生の終局

建築家と道德　貧苦と祝福　無言の應答　母の愛　子供の工夫力　男女の貞操　お茶の時間　等一百篇

道徳には如何なる價値のあるものか

何故に道徳を行ふべきか

東京市麴町三丁目　振替東京七八四七
丁未出版社
電話九段六六〇番

211

第十九卷第四號

女子青年界目次

大正十一年四月號

東京上野に於ける平和博覽會第二會場の外國館の敷地内に日本基督敎女子青年會は**婦人無料休憩所**を設置しました。諸女學校から團體なり、個人なりで見物に御遊來の姉妹方は是非御立寄り御休息下さい、又御友人方にも御紹介下さい。番茶は何時でも湧いて居りますし、御氣分でもお惡るい時は應急の藥は備付てありますから、御手紙でもおかきなさるには紙は無代でさし上ますから御遠慮なく御使ひ下さい、御問合せにも出來る丈は應じます設備をしてゐます。紅茶とお菓子は風味のよいのがあり決して外より高價ではありませんからお試し下さる樣に願ひます。

牠の端外國館別館出口

日本基督女子青年會

婦人休憩所

新しい童話

「お城シーリーズ」

村山知義譯、畫（四六版百頁）

第一篇 ロービン・フッド

「お城」シーリーズは十二三歳位のお子さんによんで頂く爲の童話の叢書でございます。主として歐米のよい童話を選んで飜譯致します。

第一のロービンフッドは H. E. MARSHALL の "STORIES OF ROBIN HOOD" を自由に譯したものでございます。ロービンフッドは英國の名高い傳說的人物で十二世紀の終りにゐたといふ事になつてをります。シエルウッドの森でいゝ意味でのボヘミヤン、ライフを送つた人で、樂しい無邪氣な正直な勇ましい强い人といふやうな意味の代名詞になつてをります。英國ではロービンフッドの名前を知らない者は一人もないと云つてもよい一般的なものになつてをります。

第二篇 リップ・ヴァン・ウヰンクル

リツプ、ヴアン、ウヰンクルはキヤツキル山脈に迷ひ込んで何んなことがあつたでせう。彼が彼の生れた村に歸つてきた時は、家も人もまるできのふの樣子とちがひました。彼はアメリカの浦島太郎でした。而かもそのお話は浦島太郎よりずつとこみいつて、新しみのある面白いお話です。外にリリアン・ガスクといふ人の作つた童話、「どうしてどうして」「坊さんと極樂の鳥」「金魚」「皇帝の僧院長」の四編が添えてあります。皆興味の深い童話です。世のお母さま達はその可愛いお子さんの爲にか、かういふ種のよいお話をお讀ませになるやうにすゝめいたします。三月一日には本屋に出ます。近い本屋にお見當りなさらないやうでしたら、直接本社に御註文下さい。

定價各冊金五十錢・送料二錢・全國各書取次

東京雜司ケ谷

婦人之友社

國産美術 漆器專門

デスクセット　手袋箱　簞笥
半巾箱　屛風　莨箱
額類　針箱　寫眞箱
サラードボール　盆類　フィンガボール類
寫眞本　ティー、テーブル

美術笠付電氣[illegible]式其他外人向漆器類一切
御注文品は御好みに依入念調製いたします

横濱市辨天通四丁目六十二番地

漆器雜貨輸出商　吉川眞次郎商店
電話本局一七一九番

懇切誠實を旨とし

民刑事件の

御相談に應ず

辯護士　神浦靜夫

東京市芝區白金三光町三〇七
電話芝五千四百四拾貳番

You are cordially invited to inspect a large display of artistic work in

IVORY

such as Carved Figures, Pendants, Beads, Toilet Articles etc. from ¥ 1.0` to ¥ 2,009.00 per piece.

NAKAMURA'S SHOW ROOMS
17 Honginch Itchome, Nihonbashi, Tokyo.
3 blocks west of "Mitsukoshi"
1 block south of Kanda Station (West exit)

高尙デ珍シキ
案外ニ廉價ナ
米人ガ殊ニ好ム
象牙品

日本橋區本銀町一丁目十七(今川橋横丁)

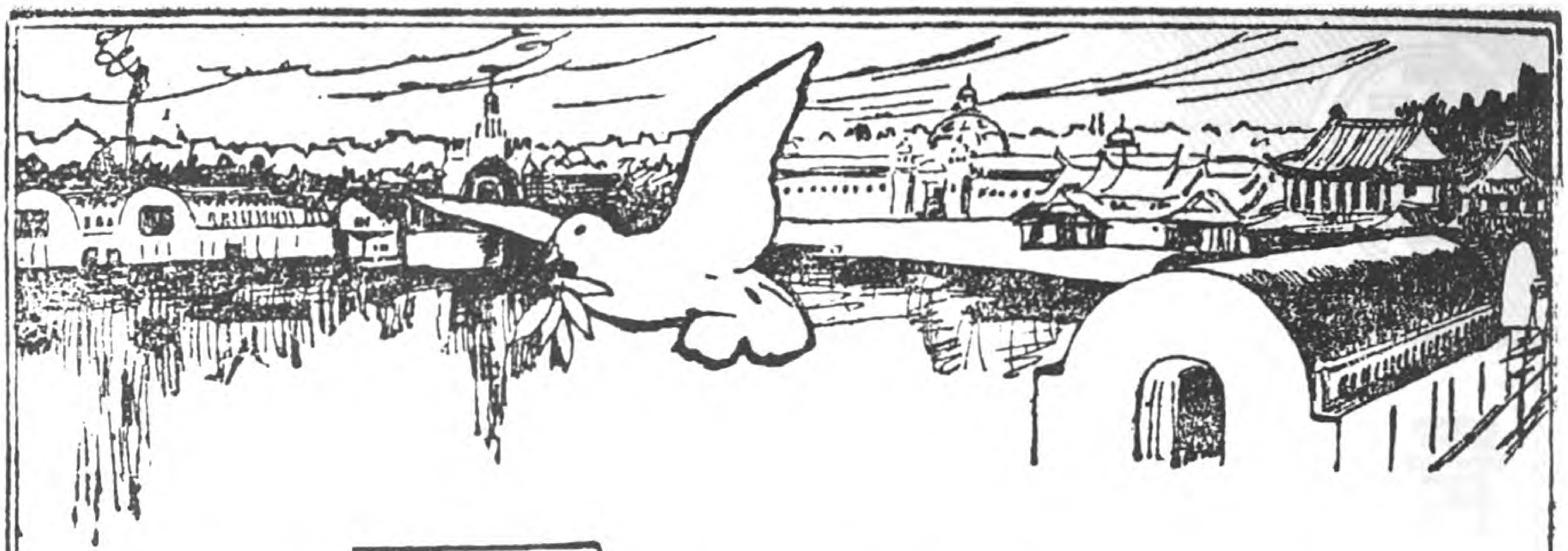
中村證三商店

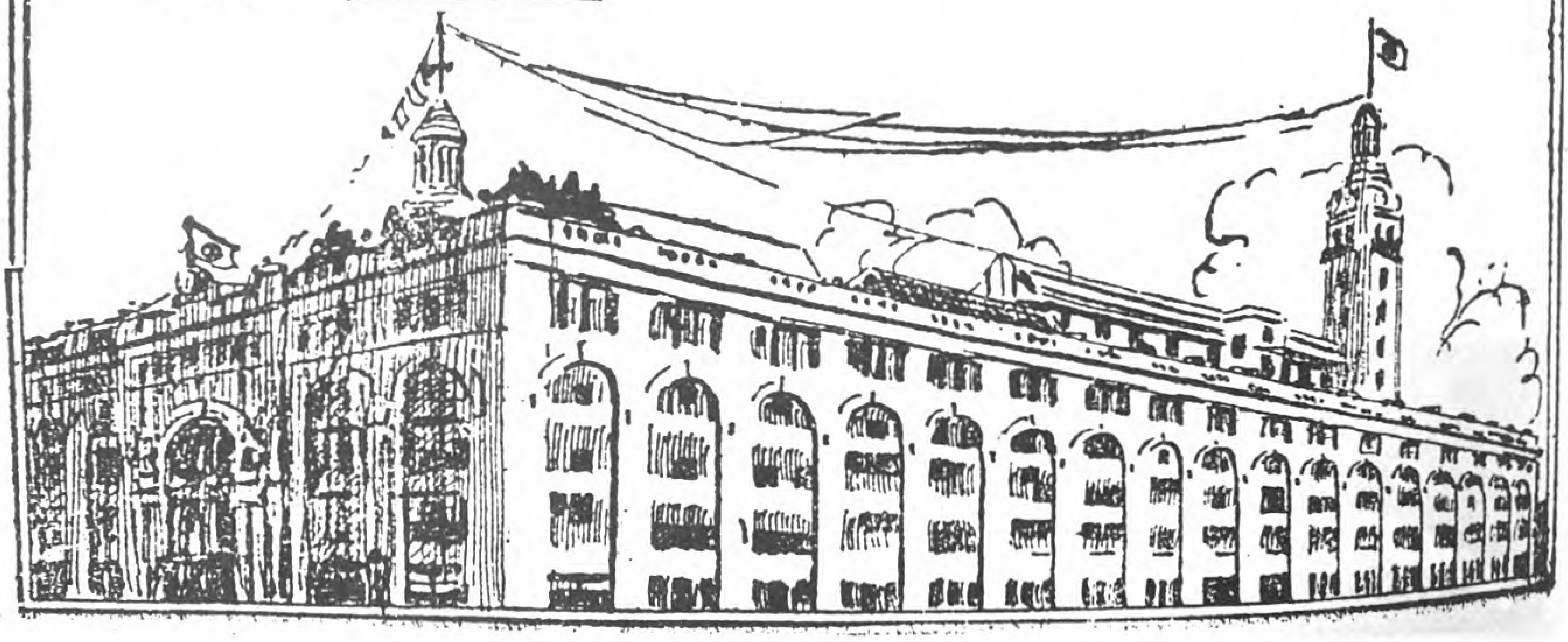
女子青年會徽章

銀臺の新しいよいピンが出來ました定價一本につき五拾錢づゝです。御入用の方は本部へ御注文下さい。

東京市神田區錦町一ノ十六

女子青年會本部







眉目清秀
クラブタルカン
クラブゼリー
クラブ洗粉
カテイ石鹸
紳士の髭剃に
クラブ煉歯磨
製法は科學的
效力は徹底的
信用は世界的
歯は強く美しくなる
口は清く爽かになる

女子青年界　第十九卷第四號　大正十一年四月一日發行

說會

希望

河井道子

働に伴ふ希望

東京上野で開催された平和博覽會場内の第二會場外國館別館の出口で、我日本基督教女子青年會は婦人無料休憩所を設けました。此を起した動機は内外からの要求であります。即ち見物に來る婦女子や小供の便宜と、外國婦人の便宜を計ると共に會場内に立働く女看守や、興行物に出る女子の慰籍や休憩所の必要を認め又他からも注意されたからであります。我女子青年會中央委員は昨年の晩秋から上野の土地につき當局者に請願してゐましたが、二月中旬まで確定しませんでした。愈々六十坪を貸與するとの許可が出てから博覽會開場は三月十日迄には二十三日しかありません。其日限中に建築もし資金も作ることは非凡の業でありますから、中央委員は其以前にも數回協議を重ねましたが、最終の協議會にて、此事業をするか否やにつき三時間に亘りて熱心に意見を述べ合ひました。實に如斯大仕事を一ケ月もないのに着手するは冒險に類す

るとて少數の反對者はありましたが、是非凡ての困難に打勝ちて試みんとの說が多數でしたので、可決されました。

其後募金やら建築工事の交渉やらに直に取りかゝりましたが、委員一同には希望と勇氣とが與へられ、特に新の精神を強められました。處が二月廿七日になつて工事請負師が私共の建物は斷然御免だと申出したので、其驚きと心配とは一通ではありませんでした。しかし又親切な援助者が與へられて三月十日迄に會館は出來上りました、こゝに第二の感謝と希望を得たのであります。

會場の責任者や働人の如きもまだ充分に整ひませんが、家政、料理の點には有名な松宮信子夫人が公私務をなげうつて茶菓部の主任になり下さいますし、神戸女子青年會幹事大谷久子姉が接待部の主任として態々上京して應援して下さいます。此についても同會の幹事、委員方の犧牲的精神と、友情的協力とは、同會が大谷幹事の俸給を負擔して迄も本部の事業を助け下さるゝに於て顯著でありましよう。「旅行者の友」の主任を永年してゐられた林フサ子姉は四月から外廻の大役を勤めて下さいますから、此點も適任者を得た次第です。此三人の部下に特志家、有給者十數人が働くわけです。加之、本部、東京、横濱女子青年會の幹事や委員が毎日二三人宛交代で出張して應援し萬事整頓すると思へば又希望に充されます。

次は資金募集ですが、何しろ一坪五十五圓の借地代、百七十五圓の建築代で六十坪と申のですから此二つで最早一萬三千八百圓ですから七月卅一日迄の費用全部で豫算は二萬五千圓となりました。幸にも土地の一部は保證金丈ですみ、建物も閉會後は請負師に拂渡すので三千五百圓助かりましたから、都合一萬一千五百圓でよいのです、併しこれは大金で非常な努力で募金に掛らねばなりません、又本部は市の青年會と組織を異にして會員を持ちませんから只委員幹事中の少數者が此任に當る事ですゆゑ其困難は普通ではありませ

ん。資金もないのに着手するは無法だとの非難は免れませんが、三月十日迄に落成せねば當局者は許可せぬといひ、金策がついてからと申して居れば、何日のことか分りません、其で祈りて勇氣と希望を得て始め出しました。然る處神樣が確に私共の計畫を祝福されたと思ふことは募金中に得た經驗と、良友と、同情とであります。殊に高き美しき人格に觸れたことは何う比べくもなき幸福と思ひます。又金額の點から云ふても二月中旬に一錢もなかつたのに今日三月十八日には一萬一千五百餘圓の寄附金があり殘額一萬圓はこれから尙一層の奮發と祈とを以てせば必らず與へらるゝとの希望と信仰とが私共の周圍に充滿してゐます。今爰に受けた良き經驗の一二を紹介しましよう。訪問した會社もなか々々數多ありますが、社長、重役中には私共婦人の働に十分の同情を表して金額に於ても、又紹介に於ても親切に充分に助けて下さいました方々のある事です、重役とあれば多忙なのは當然でしようのに廿本も紹介狀をかき其を一々速達で知人友人等に郵送されたのちに、私共に「サー訪問せよ」と導いて下した方があります。又秘書官に紹介狀を澤山かゝせて其を私共に届け下され、御自身は直接其人々に面會しておき下した方もあります。

一社長に恐る々々訪問して寄附を願ふと私共の願ふより五百圓も以上に下さる方もあります。堂々たる御屋敷に貧弱な風姿の私共が參りましても快く面會して下さる華族方も澤山あります。又御自分の主義はかく々々なりとて寄附を斷られし方もありますが、其有意義の御卓見に敬意を表し精神上に賜物を得て來たこともあります。兎も角一人の立派な人格や、温情で謙遜な紳士、淑女と逢ひますと、百人の反對者や、冷評家に水をかけられても、矢張り人間は眞の神の御性格なる淸義、愛の姿を持つて居るものだ、世は美化され、聖化されるのだと思ひ勇氣と希望とは益々強く漲つて來り、かゝる仕事を與へられた事を嬉しくも貴く感ぜられます。是には陰陽ともに私共のため祈り、同情を以て助けて下さる方々に衷心から御禮申上て、正しい

意義ある働を博覧會中も其後も我基督教女子青年會がなして神の榮を表はさんことを誓ひ度思ひます。

復活日の希望

私共の一生に希望がなくては生の味を知らぬことになります、眞の希望は信仰から來ります。希望があれば喜悦が伴ひ喜悦は愛を産み出します、或は其順序を轉倒しますと愛があると喜悦が湧き希望が輝き信仰が强固になるのでせう。是を聖書に「信仰と希望と愛は恒に在るなり此中最も大なるものは愛也」と記るされたのでせう。確に希望があれば如何なる困難とも打戰ふ勇氣も熱心も自から出て來ます。然し是は敗戰だと始めから失望してかゝれば戰はぬ前に倒れて仕舞ひます。又私共は孤獨だと淋さのみいやまして希望の勇氣などは出ません、親がある、子がある、夫が、妻が、良友があると云ふので淋しさから逃れるのみでなく、責任を感じ、共に奮闘努力、希望歡喜が附隨してくるのです。是と同様に人間は人間同志丈では親子夫婦の間柄でも寂寞を感ずる時もありますが、「我一人あるにあらず我神偕に在ます也」との信仰は人をして勇氣と希望とに立しむるものであります、信仰のある人程希望が餘計輝きます。

我等の愛する者が此世を去つたときは、殘されし者の淋しさは一入ですが、愛する者は今何處に居るか、淋しくはしてゐないかとの想像が遺族の悲愁の種子となります。斯る時に彼は決して消滅したのでもなく闇中を迷ふてゐるのでもなく神の御許に自由に進歩的な、樂しい新生活をして居のだと信ずる事が出來れば、非常な慰藉であります。基督信徒は是を確信しますのです、主イエスの御言葉や御自身の復活は世人に是を立證されてゐます。愛する者が神の許に新生命に活躍して樂しく働いてゐることが假想にせよ、彼が闇中を迷ふてゐるだの、全く消滅して仕舞つただのと云ふことも假想です。兩説ともに神學的の證據がないならば、

前者即ち神の許にあるとの說を信じて安心する方が幸福ではありますまいか。私共は決して此を空想の假說とは思ひません確信するもので、復活なく、來世なくば、人生に何の希望がありませうか、僅の資金を生前に集めたとか、仕事が出來たとか位の希望や歡喜で滿足がありませうか、否決してありません、生前、死後偕に神と一所であると云ふ信仰が希望を與へ、其が責任を重ぜしめ、他のために奉仕する心を與へるのです。

イスターは我々が逝去せし人々を偲び、彼等の新生命を喜ぶ丈の時節でなくて、天上の彼等も地上の我等を思ひ向上せよ、神の性格なる淸と義と愛とを倣へ、物質的より精神的に聖化せよと希望の無電線信を送るのであります。かゝる信仰を與へるキリスト敎を信ずる者は幸福と云ふべきであります。

生命の新らしき出發と基督

森　明

私達の生命の要求は、生存することに止まらずに意義有る生活へ進み行くことである。價値ある生涯そのことこそは私達人間の眞實なる望みである。さて、そのような生活が如何にして實現せられるであらうか、私は次に極めて端的に言ひ顯はして見よう。

命よりも先づ生命の本性に就て語らなければならない、それが(一)自律性及び(二)順應性を有することに就てである。自律性とは「カイザルのものはカイザル」へと云ふ意味である人間の生命は物質や肉慾で決して充され生長することは出來ない、生命は生命を以てのみ相補はねばならない「神のものは神に返す」ことこそ生命自律の立證である。自然主義や唯物的世界觀が終に私達の眞の生命の經驗に成り得ない如くであ

る、然ればとて、生命は自己以外に、何者とも交渉無くして進化し得るものでは無い、其の本性の上から(二)順應性を有すること及び、其の活動によつてのみ進化し得ることを否定することは出來ない。之を物質的生命現象に見ても能く食し能く呼吸するものは肉體の生命盛んにして植物生活に於ても普通太陽の光線或は水分に能く接するものはゆたかなる生命の姿を顯す如くである。單に其れ等の機會を與へらるゝのみに止まらず動植物は自ら生命を全ふせんと必要なる事物に向つて自ら順應作用を起すのである。生命は自律性を有する、然も自己の内部のみにて之を全ふすることは出來ない、故にもし其の對象を失ふた生命は枯死する。生命の本性に關する之等のことを記憶に止めて置いて私達は更に、生命の現象に就て學ばなければならない。凡そ生命現象は、大別して其の分化を三種と見る、(一)無意識的(二)意識的(三)自己意識的とする、ベルソンは(一)眠性的(植物)(二)本能的(動物)(三)智的生命人間と稱びなしてゐるが私達の追求する眞の生命は素より此の第三の生命要求から出發しなければならない。こゝでは(一)を省略して、先づ第(二)と第(三)の生命活動を比較して行かふ。

意識的生活とは總てが外界との順應のみで「反省」が伴はない生活を云ふのであつて、それは個人的社會的及び民族的生活が等しく「宿命」であつて「價値」が無い他のものを批判無しに其のまゝ直ぐに取入れてしまふ換言すれば「人眞似」の生活、丸呑の生活無反省の生活である、それが如何程盛んに行はれても決して眞に私達の要求してゐるものを產出しないのである。

であるから私達は常に生活の行詰りと眞の生命の經驗とに遠い生活の悲哀を味ひ知つてゐる。局面を一變せしめて全く新らしい生面を開展せしめたい切なる要求をこゝに感ずる。然し今も言つたように、只他のものを其の儘受け入れたばかりでは決して生命の新らしき出發とはならない。

そこで第三の自己意識的生活が要求せられて來る。反省が引出す自覺によつて起る自己意識こそ眞に生活の新天地の開拓とは成るのである。例へば私達は悦樂にしろ困苦にしろ來る處のものが自己に取つて其の何たるかを吟味し如何なる意味を有するかを省察し更に之によつて自己の何たるかを自覺して總てを自己に分解し消化し自己のものと爲す、こゝにのみ眞の私達の人格的生活が生ずる。人格とは何であらふか、智、情意の各意識が自覺によりて統一せらるゝ處に成立する、自覺とは何であるか、それは部分的意識が全體として統一せられたる中心に於て、それ自らを反省することによつて起る。自己の反省とは意識の中心を求めつゝ終に「我は我なり」との自覺に達する、デカルトの鋭くも指摘したやうに、この自我こそ總の根底であり實在である又創造者建設者である。

近世の總ゆる意識表明は此の自覺より生命の新らしき出發を爲してゐる。こゝに眞の價値ある生命の創造となり勞作となる、自我こそ一切の出發點であつて自覺せざる凡の勞作は機械的勞作と成つて價値を失ひ、其の社會的生活は屈從となり其の宗敎的生活に就て言へば盲從と成るに過ぎない。然らば總てのもの丶優位に自我を置く時は多數個我間の連絡を失ふ、換言すれば自己本位に成つて他人の立場を無視するうに互に成つて來る、其の事實は希臘時代に於てはソフィストの一派の絕對的個人主義が夫を示したのに對して總ての人々の間には共通の普遍的眞理があることを敎へたソクラテス、近くは獨立形而上學時代の學問を多數個我の分裂から救ひ出したカントの主張する如く私達の自我の自覺は勝手氣儘にして置くことは出來ない故、更に高く根本的な規範的意識即ち基督の自意識に照應せしめて之等を吟味し統一し來る時初めて其處に眞の自己の姿と相互との關係とを發見し總ての誤謬をも識ることが出來るようになる。斯くて私達は眞の自覺に到達し玆に生活方向回轉の要求を爲すに至るのである即ち宗敎的生活に於ては「悔改め」と成る、趣味も是非の判斷も從來と悉く異つて來る筈である。價値轉到が私達の意識に起つて來る一例を示せばパウロが「ピリピ書三ノ七……八」に述べてゐる通り基督に至ることによつて私達の人生觀が一變し全く新らしき生命の出發

の要求となる。私達の生活を眞の意味に於て創造し律する此の規範的生命意識である基督に於ける統一と一致とは私達それは個人であつても又は民族であつても各自の自覺及び其の自由を無視したるものでは無く個別的統一である玆に個人であつても將た民族であつても他のものを以ては置き替へられない其ものゝ價値と使命とを保有するのである故に歐米の文化を東洋人が丸呑にしたり他人を無自覺に人眞似したりすることは決して眞の生命には成り得ない、基督は其の個別的全體であるから。私達は自己の人格の獨立を全ふしつゝ生命の新しき創造に赴くのであるが。玆に更に重大な問題が提出されてゐる、それは罪惡の爲めに持ち來された生命の惰落である今日生物學も心理學も等しく此の事實を指摘してゐる、此の悲しむ可く恐るべき事實が基督に於て指し示されたる方向に轉回して生活の歩みを移さんと欲しても其の新たにして輝かしい聖き永遠への理想は實行不可能で夫は終に努力の能く到達し得る所で無いことを發見する私達は斯かる場合に自己の無能無力にして罪の爲めに敗られたる最も悲しき自己の劣弱を痛感するのである。私達は時に基督教の眞理の崇高なるに敬服し其の輝かしい生活を思慕するが自ら基督信者と成るのを恐れる、夫は餘りに自己の劣弱なるを知つてゐるから其の高潔なる生活は到底實現することは出來ないと悲觀する故である。私達は基督によつて人間生活の眞に價値ある永遠への路を新たに進發すべき眞理と生活回轉の要求とを示された、然し其の能力を自ら缺いてゐる、出發せんと欲して出發し得ざる此の苦境より私達を救ひ出し、全く新たなる生命の世界へ出發せしむる者も亦十字架に於て罪を滅し復活して死に勝たる基督である彼に於て示されたる高き生命の理想は彼に於て爲し遂げられるのである、私達は私達の内に於てのみ生命の流れの水源を有して居る故に其憤出の力は極めて弱く且つ低いが若し基督を信じ其の恒に新たにして最も崇高なる生命に私達の生命の水源を求むるなら、曾ては到達することの出來得ざりし程のものに到り達することが出來る。私達は彼に於て新たなる眞の自己を自覺其の生活の新に進み行く可き理想を與へられ、是を實現し得る能力をも與へらるゝ玆に眞に生命の新たなる出發が存る、重ねて言ふ宗教生活に於て眞に私達を新にし光輝ある生命に入らせしむるものは「我れ救はれたり」と云ふ其の自覺である。

戰のない世界

岡崎小文

現代人の要求は平和と愛とである。其世界は空想であると望を捨てるべきか。宗教心が目醒める時、世界を一つの大な家庭と思へる時、一人の父なる神の下に萬人が彼の愛し給ふ兄弟姉妹である自覺に入る時、武器は飾物となるであらう。軍備費は文化の華を咲かす料となり、幾年が人類が夢見たパラダイスは地上のものとなるであらう。サンガー夫人は産兒制限によりて、より良い國民を生じ、人口増加制限によりて、戰爭を阻止する一道を示されたが、私は更に信仰によつて、高い人道を歩むことによつて、平和の世界出現を固く信ずる一人である。

過日左の手紙と同封で、シドニー、ギーリック氏から一通の宣言書を送つてきましたから大略を御紹介申上ませう。

日本の友へ

キリスト諸敎會聯合會議の宣言寫し封入いたし置き候まゝ御覽下され度候。

猶ほ皆々樣には華府會議への日本代表者が可成多くの米國人に非常によき印象を與へられたる事を御知らせ申上候、尤も最初は少なからぬ人々が稍苛對な批評を致す傾向有之申候そは代表者の方々が各提出を充分に研究したしと主張し或はすつかりの答辯も待たずして種々の申出を爲しなどして議事の進行を妨げたる爲に候。されども今に及んでは人々は、日本の代表者は公平で、腹臓なく且つ公明にしてその決定を遲れしは出來る丈賢き決定を爲さん爲め與

に充分なる理解を欲せし爲なりきと申居候

支那問題は内部紛狀の爲人々の思ひしよりも更に複雜にして困難なるもののあるを知り申候。

日本の新聞記事を飜譯したるアドバタイザーを讀みて日本代表者に對して不當の批評多く加へられ居るやう存ぜられ驚き入申候、如斯の批評は其局面の非常なる困難を洞察せざるものと存じ候私は日本代表者は立派な仕事を爲されたと存じ申候。米代表者及新聞記者も一般に同樣の意見を有することを信じ申候。早々

戰爭のなき世界に對する理想と政策

キリスト諸教會の國際的理想

1 國々は個人に劣らず神の不變の道德律に服從すべきものたる事を信ず。

2 國々は公平なる行爲と無私の奉仕によつてのみ眞の安寧と偉大と名譽とを得るものなるを信ず

3 自らをもつてキリスト教徒たるを許す國は、特別なる國際的義務を有するを信ず。

4 キリスト教的兄弟の精神は商賈、色（人種）、信條民族のあらゆる不正の障害を取除くものたるを信ず。

5 キリスト教の愛國心は國々の間に情誼の實行をうながすものなるを信ず。

6 國際政策はあらゆる民族に同等なる權を與ふものたることを信ず。

7 凡ての國々は永久的に世界の平和と情誼を守るべきものたる事を信ず。

8 國際法と正義の國際法庭及び仲裁々判所の一般的使用を信ず。

9 凡ての國々の急速なる軍備縮少を信ず。

10 無戰爭の世界を信じこれが完成の爲に吾々自身を捧ぐ。

米國に於けるキリスト諸教會聯合會は敎會を代表して軍備制限の會の爲に深甚敬虔なる感謝を神に捧げしことを報ず。これは國內及國外の數億のクリスチャンの熱心なる祈に神の答へ給へることたるを認

めるのである。

吾々は本會が獲得したる立派な成功を喜ぶ。とは言へこれは無戰の世界への一歩である。我々は更に平和の王が吾人の前に置き給ひし目標に向つて進まなければならぬ。其目標に對して次の様な宣言をするのは蓋し適當のことであらう。

吾々は教會としては戰の惱が文化國キリスト教國から永久に消え失せる政治の方法及制度を詳細に定めるが如きは自分達の爲す事ではない。かゝる決定はむしろ政治家、裁判官及律法者に委だねるべきものだと思ふ。

而しながら吾々は確固たる自信をもつて、國際的生活に含まれて居るはつきりとした道德律を宣言するは、教會の權利であり義務であると信ずるのである。而して律法者及凡て吾々の國際關係に於て吾々を代表する人々が最大の注意を拂つて是等の主義を嚴守せん事を主張する。些細な議論の爲に主旨が破られないやうにと願ふのである。

國際生活の道德律は各國々の謂る凡ての肝要な興味の中でも重も大切なものである。教會並に國民生活にとつて此の律は最も大切なものであつて各地のあらゆる教會の人々は是が實現に合同一致すべきである。世界の戰爭はたゞ國際的目的及行動の一致によつて勝利を得たのである。戰なき世界はたゞ敬虔の平和論者の一致によつてのみ完成される。本會議に代表された國々の人の間に起つた一致と相互扶助の新精神は誠に喜ばしい次第である。此精神こそは凡ての特種條約にも優つて將來の爲に大な望を與へるもの、更に大切なものと思ふ。

軍備制限の會議はよい出發點をした。吾々海軍の根本縮少に對して十年間の海軍の休日に對して、大平洋平和維持の爲の十ケ年間四國協商及支那緊急問題の眞の解決への一歩に對して非常な喜を感じる。

然しながら國として更に重大な、更に非常に困難な事を有する事を忘れてならない。巨船は殆ど其意義を失ふたが陸軍の一般縮少はまだ用意が出來てな

い。化學、飛航機、潜水艇戰爭が世界を脅嚇して居る。新しい武器は世界に新しい問題を起したがこれを如以にして廢止或は制限し得やうか、文化國民が自國の異議を通さんとするには戰か戰に對する用意が正當の方法であると認めてる間は出來ないのである。戰爭そのものが法律の保護から離れなければならないのである。

吾々は戰爭を法律の保護外に置くにはたつた一つの道のあることを信じる。先づ平和法をこしらへる事だ。軍備解除丈では戰はなくならない。戰に呪はれた世界から戰爭を絶滅し得るものは法律を守り、平和を愛する國民の手によつて、律法の下の正義と自由の制度行動が設立され維持される事によつてのみ可能である。今日人類の焦眉の急務はあらゆる國々が同様に同等の正義、絶對の安全、及公平な經濟上の機會均等を確定する國際的制度を速に設けることである。是れ實に永久平和の先要事である。

力ある國際的保證によつて適當な保護が與へられるものである。これがあつたならば佛國も其他の諸國も浸略の慘害悲劇には遇はなかつたであらう。合衆國は歐洲諸國に道德的義務をもつて居ると思ふ。平和協會の設立に對しては凡ての國のキリスト教徒に特別な義務と責任とがあることを信じる。人々に是等の眞理を教ふる者はキリスト教の牧師並に傳道師の為すべきことである而して神の惠によつて此心を此意志を各國民の間に起してほしいのである。若これなくば軍備解除も空にかゝる美しい虹に過ぎずして戰のない世界は不可能である（以下略す）

●　●　●　●　●

八重もよしこゞめもやさしミノ蟲も
あるがまゝの姿ぞ美し
月見れば花見てあれば此心
吸ひこまるゝか久しき世界に
我胸の黄金の扉音もなく
開きし日より生きんとはしぬ

アリーが闇の國に來た話

村岸榮子

「是は平和の物語です。平和の御記憶のある方、そして今一度平和の姿をおみつめになる方は、血腥い泥臭い世界から眼を離して、現實とするには眞とも思はれぬ許りに善良である都市を（よしそれが瞬時であらうとも）思ひめぐらす事を以て必ずや喜びとせらるゝでせう。」

かういふ緒言を以て始まつたロード、ダンセニーLord Dunsany の "Tales of wonder" の中からアリーの一篇を御紹介致します。頗る童話染みて居ますが面白いと思ひます。

散髪師のシユーシャンがシエップといふ入齒作りの許へ出懸けて行つて、英國の現狀に就て大に論じ合ひました。結局彼等兩名はアリーを呼んで解決をつけて貰ふべき時代であると結論しました。そこでその夜はおそくシユーシャンはフリート街に近い小店を立出で、ロンドンの隅つてにある我家へ戻るとすぐに、アリーを招く手紙を出しました。

アリーは遂々來ました。がペルシャの國から徒歩でやつて來たので一年かゝつたのです。然し彼は大に歡迎されました、忽ちシエップは眞向から英國の狀態をアリーに話しかけるのでした。シユーシャンも傍からそれに間違ひない事を頻りに誓言しました。それでアリーはフリート街近くの小店の窓からロンドンに續く街路を見渡し乍ら、わざと聞える樣

にソロモン王の名を呼びそしてソロモンの封印を祝福しました。

二人の者はソロモン王とその封印といふ言葉をきくと申し合せた樣に、アリーがそれを持つて居るかどうかを尋ねました。アリーは下着の奥の方から引き出した小さい絹の包みの上を叩いて見せました、其處にあるといふのです。

さて此の時代は、星の運行や星と地球の妖精や惡鬼などゝの關係に就て、「第二の無學時代」と言へばよいのでした。けれどもアリーは何でもかでも知つて居ました、そしてバクダードで七日七夜といふものは一心不亂で、或る種の星の動き方を研究して來た爲めに、彼は二人の者にとつて必要な者の住家を見付け出したのでした。

そこでアリーを先頭にして三人は地の內部へ向つて出發しました。そして一行はアリーが探ねて居た邑へと辿り着きました。其處は耻し相な星がぐるぐる廻つて、困惑の餘りに軌道から外れ落ちるのを、アリーが曾て目擊した所でした。所が實地に彼等三人が來て見る時には、眞夜半であつたのに一つの星さへも見えませんでした。それでもアリーは其處が目的地だと言つたのです。

夜が明け離れると一同の者はその國を見渡して、如何にも其の場所がアリーの言葉通りに目的地であつた事を確められました。

地層はすつかり坑からはね除けられ、燒き盡されて灰の塊になつて殘つて居り、その上に幾多の工場がさもさも勝ち誇つた樣に棟を並べて聳えて居るのです。シエラブもシユーシヤンも思はず一齊にアリーの名を頌へました。

ところでアリーは申します、此の邑の有力家達を一つ處へ集めねばならないと。そのために二人の者は邑へ出懸けて、アリーが英國を非常に益する所の極めて珍奇な專賣特許樣のものを計畫して居るといつて、巧みに說き廻りました。邑人達はアリーが如何にして只人類のためのみの便宜を工夫したかとい

ふ事を聞くに及んで彼等はアリーと語りまた彼の珍奇な事を見る旨を承諾して、出かけて來ました。

さていよ〳〵アリーは始めました。

「お立派な皆さんよ、誰も知らぬといふ人のない程有名な本に出て居りますが、或る漁夫が網を下した處が魚の代りに黄銅の壜が引つ懸つた、そこで壜の栓を拔くと物凄い形相をしたおつそろしい魔神が壜からぬつと首を出したのです。まつ黒い煙が立ち昇つて空まで暗くなりました。

漁夫はそれで……。」

「その話ならみんな知つて居る。」

と土地の有力家の一人が、話の進行を遮りましたが、アリーはすかさず答へました。

「然しその魔神が再び海中へ投げ込まれた後でどうなつたか、それを適宜に語り得るのは惡鬼學の研究を續けた者を措いては他にありますまい。然るに茲に不思議なのは封印をされた、そして今日その封印をなほ帶びて居るその栓が、壜から離れて出て我々のよく熟知して居るもの丶中にある事です。」

かく言ひつゝアリーは土地の人々の顔の上に動く疑惑の色を見てとつて、例の小さい束を取り出して一枚一枚絹の布をのけ乍ら一つの封印を示しました。尤もそれを封印と探つたもの、封印と見ぬ者もあつたのです。ともかくも彼等はひどく好奇心に驅られて、熱心に話に耳を傾け出しました。

「さればです、此の私は、英國の最も兇惡なる狀態即ち煤煙が全土を眞暗にし、且つそのために青草がまつ黒くなり、しかも猶工場は增築される一方で人間迄が小歌一つ誦する寸暇がない位にせつかちに騷々しくなつて行くといふ、かういふ事どもを聽いたので茲に善良なる我友、シユーシャンなるロンドンの散髪師とシエップなる義歯工の乞を容れて調停の法を試むべく出馬した次第であります。」

「でも一體お前樣の專賣特許とか珍しいものとかいふのは何處にあるのです」と彼等は訊ねます。アリーの答は平然たるものです。

「私はこゝに一つの栓と、そして必ず善良な人の眼には解つた筈の筆舌を以ては説明の出來ない封印を持參して居るではありませんか。つらつらペルシヤにあつて研究した結果、凡て周章ての源因を作り狼狽人間を右に左に狼狽させる所の汽車や、坑堀りや工場や、その他みな惡と名のつくものは、どれもこれも等しく蒸氣に依て作因されて居る事を知つたのであります。」

「その通りぢやないか。」とシユートシヤンが言ひました。

「ほんにその通りだ」とシエラブが言ひました。

「茲に於て極めて明確になつたのであります、即ち英國を苦しめ多くの害毒を加へて、更に人間を都市に追ひ込み休息の寸暇すら與へる事をせぬ惡鬼の主領がこの蒸氣魔だといふ事であります。」

この時また一人の者が出て彼の言ふ事を抑へ樣としましたが、是をヽし止めた者がありました。

「まあ、も少し言ふ事をきいて見やう。ひよつとしたら此の人間の專賣特許は我々の蒸氣を改良するのかもしれんて。」

そのお蔭でアリーは、先を續けて喋舌つて行きました。

「土地のお立派な衆よ、私はこゝに栓ばかりを持ち合せて壜がない故に、一つ丈夫な鋼鐵の壜を作つて下さらぬか。そして出來上つたら工場でも汽鑵車でも坑堀りでも、何でも、ござれ蒸氣によつてされるすつかりの惡い事を一週間中止して、それに關つて居るすつかりの人達を自由にして御覧じろ、ところで、今は私の鋼鐵の壜は口を開けたまゝ同じ處へおくのですな。すると蒸氣先生、這入るべき工場も氣鑵車も坑も見付からぬわけで結局好奇心と、一つには常から鐵類には慣れて居る所から、たつた一夜の中に皆さんが作つてくれられる鐵の壜の中に這入つて了ふ事疑ひなしですよ。其處をぬからずこの私が隱家から飛び出して、私の持つて居る栓で蓋をしてその上筆舌以て説く能はざるソロモンの封印で縛り

のけて了つて、是を皆さんに提供するといふのです。それは海に投げるなり何なりと御勝手に。」

これを聞くと或人がアリーに反問しました。

「然し乍ら我々が繁榮の原因を失ひ、もはや富むといふ事がなければ、何物を得るといふのですか。」

「そりあ此の惡鬼を海中に投げ込んで了ひさへすれは森も青くなり羊齒も伸び、世界が前に持つて居た美しい物がみんな歸つて來るのです。野兎が足元に跳ね丘の上には歌聲が洩れ、黄昏時には靜寂と安逸とが訪れます。夕には澄み渡つた星が輝くのです。」

「そしたら又ダンスも始まるわ」とシユーシヤンは言ひ「如何にも郷の踊りが始まるぞ」とシエツプも聲を合せました。けれども土地の者はアリーに反對でした。

「我々はお前樣の持つて居る栓に合ふ壜は作りますまい。それに健全な工場を閉鎖したり善良な汽鑵車を停めたり穿坑事業を中止したり、その他何なりとお前樣の要求は容れますまいよ。何と言つても此の蒸氣こそは御覧の通りの繁榮の根源なのですから。」

かうして彼等はアリーと兩名の者とを灰燼に滿ちた荒廢せる土地に殘した儘で退散して了ひました。あとには只工場のみが惡魔に似た火焔を終夜吐き出して居りました。そんなわけでアリーは一週間の後にはカレーから又ペルシヤへと足を向けて居つたのであります。

で、この事は三十年以前に起つたのです。ですからシエツプもシユーシヤンも今は隨分な老人になつて居るのです。そしてシエプの華客は隨分數多く彼の作つた義齒で嚙み合せをして來たのですが、彼等二人はこの頃になつて再び次の樣なる手紙をアリーの許に送りました。

「アリーよ。惡魔は、まことに更に惡魔を生み候。しかも子惡魔は肥滿增大、十年を出でざるにその父と同じ迄に發達致し候。されば早速御來駕、かの說き難き封印を以て我等を助けられん事を貴下に並ぶべき者他になきを我等は信ずるが故に候。

この手紙をアリーは手から放し乍ら、薔薇の葉を撒いて居る奴隷共を見返りつゝ、香煙草を肺の中迄深く吸ひ込んで、それから一息吐き出すと微笑を含んでゆる〳〵と頰杖をつき直して言つた事でした。

「一匹の犬を助けに二度迄出かけて行く人間があるかね。」

彼はさう言ひ終るとまう何にも英國の事を考へませんでした、そして再び神の測り難い攝理に就て默想を續けて居ました。

個性の横暴と完成

齋藤庫三

一

夏の夕ぐれ庭に水うつて、足のつま先に咲いてをる草花の幾種を見まするときに、空の星のごとき一つ一つの美はしさが私共に迫ります。

私はかゝるときにものそのものゝ個性の美を、またその生命の神秘をつくづくと思ひます。

ギリシャ哲學に現はれた宇宙觀の極致はイデャの世界に持たらせられて行きました。プラトーは天上のイデャに戀する地上のイデャを發見して、あらゆる地上のものに同じイデャがあると叫びました。これに反しアリストートルはものそのものゝ特殊性をそなへたところにイデャを見出しました。櫻草には櫻草のイデャがあり、桃には桃のイデャがあると申しました。

このプラトーと異つたアリストートルのイデヤ觀は先きに申した草花の一つ一つの美を區別した個性にひそめる生命の指摘であるとも申されましやう。そして私はいつもこのものそのものゝ個々の美と生命の不可思議さに驚いて暮しております。

二

この個性に現はれた生命神秘の權威は、また近代人に烈しく讃へられました。女性は女性とし、男性は男性とし、その他さま〴〵のことに於て、社會問題や人の道德性にまで影響を及ぼしてまゐりました。私はこれをイプセンやニイチエに殊更濃厚な色彩として見ております。殊にニイチエは英雄的天才崇拜をとなへてかの大ナポレオンのごとき嘆美するに至りました。蓋し近代に於ける主我主義の傾向は一面この個性の讃美より專橫へと赴いたところに握手した點にその著しき特徵を見出されます。そしてこれが最も恐るべき危險をはらんだものと私には見られます。

三

蓋し近代に於ける個性の自覺は個性の專橫に赴いて利己的な恐るべき主我主義をもたらしたことは疑ひはありません。その結果として現はれたものは今次の大戰でありました。獨逸のある人々は自國の文化の特殊性をば世界の普遍と合體せしめやうとしたのです。否むしろミリタリズムを以てさへも自國の特殊性を以て世界の普遍性を律しやうとしたのです。その結果は一つの船に三十人の船頭が乘つたやうに顚覆の運命をもたらしたのです。

近代生活に於ける一面の危險はかくの如くでありましたために、これに反抗して立つた人々もありました。それはレオトルストイなどの人々でありました。然しながら自己の個性の創造にのみおぼれた近代の人々はまだ〳〵覺めもやらず自己なる特殊性の追窮に利己主義の恐るべき利權を叫んでおらぬでしやうか。殊に我日本の人々は日本人なる名のもとにあくまでも自己のみの特殊性をむさぼらうとしてお

りはしないでしやうか。

四

私共はこの危機より救はるゝ必要があります。少くも氣のついたものはこの爲に叫ばずにおられません。一もとの大木を育つにはよけれど、その下に咲きほこる草花が日陰を遮られてその美はしさを現はし得ないやうになることはありはしないでしやうか。もしかゝることがありますならば遂にはこの大木も育ち得ないに至りましやう。私は私共自己の個性をのみ尊重し自重しすぎて横暴に陥つてゐないでしやうか。果して然らば私共の個性もまた完成を遂げれずに了ふやうなことはありませぬでしやうか。

ものごとはすべて、ものはすべて互に關係を保つて生活をしてをりまする以上、また一面に私共は各自の個性を支持してをる普遍性の眞理を思はねばなりません。妥當と普遍は哲學成立の動かすべからざる法則であると共にまた人性生活の動かすべからざる規約でありませんでせうか。私は近代の日本の人々が殊に個々の横暴性にとらはれてこの普遍の規約に救はるゝ必要はありはしないかと思はずにおられません。

五

私はこゝに至つて、唯一のこの救ひの道をキリストの復活の審美に見出すより外にないと思ふに至りました。そこまでに至りましたプロセスの發表は時間に迫まれてゐる私には他日に讓るより外はございません。

キリストの復活ほど世にもたへなる美と活力と道德性とを帶びてをるものを見出すことは出來ません。主は甦りたまへりと叫んだマリヤの聲はげに世界の死せる人々を甦したことでありましやう。

それは死の十字架を通つて甦つたものでした。このキリストの死の十字架には人類罪惡の救濟せられた苦悩と感謝と勝利とが伴つておりました。そこに唯一無二のキリストの復活の美が起りました。

のみならず、この復活の美はしさは罪の十字架を通つてまゐりました故に根本的な普遍的性質を帶びておりました。そして何人にも同じやうにこの復活の美はしさに參與するの權利を與へらるゝに至つたのでありました。あの罪にまみれたマグダラのマリヤでさへも。私は再びこのマリヤの驚嘆を聞かねばなりません。否我等は世界の同胞に一齊にこの聲を聞かしめるために祈り求めねばなりません。祈り求めねばならないではないでしやうか。天上の星と共に地上の人の子等が悉く輝くために。

（十一、三、二〇）

聖書研究

エス傳概略（其五）

イエスの豫言

武本喜代藏

△預言の原語は「ナビイ」で「湧き上る」の意である、神感默し難く、覺へず絶叫するのである、更に神の機關と成つて語るの意もある。神に代つて其聖旨を他に傳達するのである、舊約時代から新約時代を通して豫言者は出た、古は豫言者の學校さへあつた、併し多くは直接神に召され、撰ばれたもので、靈感の人である、靈知の人である、神の暗示を受け不思議の智能を供へて驚くべき言を語り、未來の事や、未見の事を斷定したものである。

ペートメ曰く「神の聲を聞かんとせば須らく五官の

働きを止めて、神に心を集中せねば成らぬ」と、實に神の事、靈の事、未來の事に到つては、人間の推理も想像も及ばぬ、智者も學者も只啞然として默する外ない、只神が豫言者を通じて之を語り出で給ふを俟つべきである、「主エホバ語り給ふ」とか「エホバ云ひ給ふ」と豫言者が前置をするのは全く之れが爲めであつた。

イエスも又廣い意味での豫言者であつた、エマオ途上の二人の弟子は「此人は神と萬民の前に於て行と言に大なる能ある豫言者なりし也」と語り合つてゐた、彼の前には人間未到の世界が展開されてゐた未來が現在の如く見へてゐた、凡ての豫言を疑ふとも主の豫言を疑ふことは出來ぬ、神は此イエスに智慧と力を賜ふて人間最大の豫言を爲さしめ給ふたのである。

(一)成就されし豫言。

イエスの多くの豫言中には、已に成就され、完成されたものと然らざるものとがある、先づ其文字通りに成就された豫言に付て調べて見ると左の如くである。

(イ)神の國の發展に付て、芥種や、パンの喩

(ロ)傳道の困難に付いて、主の爲めに集議所や、王の前に引かれる、「兄弟は兄弟を死に付し」云々の豫言「地に泰平を出さん爲に我來れりと思ふ勿れ…刄を出さん爲に來れり」との豫言も又成就した。

(ハ)イスカリオテのユダに付て、「汝らの中一人我をわたすものあり」との豫言も成就した。

(ニ)ペテロに付いて、彼が主よ「獄に迄も死に迄」と云つた時、「汝鷄鳴かぬ前三度我を知らず」と謂はんとの豫言も文字通りに成就した。

(ホ)甦の豫言、主は晩年に到りて屢々弟子に己れの甦りを豫言し給ふた、或はヨナの例を引き「それヨナが三日三夜魚の腹の中に在りし如く人の子も三日三夜地の中に在べし」と云ひ、馬太十六章には「此時よりイエス其弟子に己のエルサレムに行きて長老祭司の長學者等より多の苦を受け且殺され三日目に甦るなどなすべき事を示し始む」とある、之れも又文字的に成就した。

(ヘ)エルサレムの滅亡、太二十四章の上半はエルサレム滅亡の豫言で「アヽエルサレムよ〳〵……視よ爾らの家は荒地となりて遺されん…」

は其儘に成就した。

(ト)聖靈降臨「聖靈なんぢらに臨に因て後爾曹能力を受けエルサレム、ユダヤ全國サマリアおよび地の極にまで我が證人と爲べし」との豫言はペンテコステの日に明確に應じた。

(二)未完成の豫言。

イエスは幾度か自己の再來を豫言し給ふた。他の凡ての豫言が盡く成就したのに、此最大の豫言のみ未完成の儘である、彼は路加廿一章二七に「その時人々は人の子の權威と大なる榮光を以て靈に乘來るを見るべし」と語り、直ちに「天地は廢るべし、然ども我言は廢る可らず」と斷言し給ふた、イエスの斷言にさへ謬りのある世の中なる何もかも信用は出來ぬ、天地は廢つても我此言は廢らぬと迄斷言した主がスッカリ根據のない空言、たわ事のやうなことを言つたとすれば彼の腦力が疑はれる、全く狂人である。

そこで此再臨の豫言に對して色々の解釋が出た如何にもして之れが事實を否認せんとするのである、或は之れを聖靈の降臨と解し、或は個人の臨終と著へなどした、併し何れも不滿足である、全く聖書の根本思想と背反する、再臨はどうしても有形的、具體的でなくては成らぬ、ミルトンの如き明確に「基督が自身地上に顯現して千年間王たるべし」との信仰を存してゐた、此千餘年說は近時著名の神學者等の採用する所でホフマン、デリッチ、ローセ、ベン、オステルジー、イー、ビー、エリオット、カミングローテア等の學者は、熱心唱導して已まない、彼らは「此のち人の子大權の右に座し、天の靈に乘りて來るを爾ら見るべし」との御言を事實として信じてゐた。

勿論爾來の豫言中で一種の比喩として取らねばならぬやうな所もある、例へば馬可九章一、「イエス又彼らに曰けるは我誠に爾らに告ん、此處に立つ者の中に神の國の權威を以て來るを見る迄は死ざる者あり」とか、路加九章廿七の我誠に爾らに告ん此處に

立つ者の中に神の國を見る迄は死ざるものあり」と云ふが如きはどうしても有形的再臨としては受取れぬ、則主が聖靈として大なる勝利を以て再來し給ふの意であらう、「我事業は一時失敗の如く見へんも爾らの中には生きて神の國の勝利を見んとの豫言であらう。

イエスは千九百年前一度苦難のメッシャとして來り給ふた、併し何時迄もそれであるべき筈がない、やがて榮光のメッシャとして再來すべきである、然らざれば神の政治は亂れる、イエスの如き罪なきものを永久苦みと、恥ぢの儘で放任し給ふやうな神は神とあがむべき價値がない、茲に宗教的、倫理的必然として榮光の主としてイエスの再臨は疑はれぬ。

法律講話

婦人と法律

岡崎應介

第三　買物の御注意

お話は極めて通俗的に申述べます故、從つて實際問題については幾多の疑問が起るでせう。御質問には喜んでお答へ申します。編輯部までお尋ね下さい。

博覧會へ御出掛けになるにも、お勝手でも、又無産者でも有産者でも、私有財產制度の現社會では、先づ買物をします、社會主義の社會でも此現象（若くは類似の）はありますが——故に賣買の問題からお話を初めます。

經濟的に此現象を考へるなら、安いか高いかを考へる、即自分の求める物品と代金たる貨幣との價値判斷をなしたる上、貨幣と物品とを交換します、換言すれば、買手は安くて品質の上等な物を欲し、賣手は品質の粗惡なものをも成るべく上等に見える樣にして高く賣らうとするのであります。從つて之を

全く當事者の自由に一任しておくときは、競爭が激烈になつて遂には數量をごまかすなど不正賣買が行はれ人類の平和が亂される恐れがあります。仍て法律は或程度の制限を加へて社會生活の安全を計つたのであります。

法律から此現象を見ますと、賣買は當事者の一方(賣主)が或財産權(目的物の移轉は經濟的事實行爲で、法律から見れば其物の上の權利を移轉するに外ならぬ故財産權と云ふ)を相手方(買主)に移轉することを約し、相手方が之に對し其代金を支拂ふことを約するにより成立する契約であります。如斯直接財産權の移轉を生ぜしめず單に移轉の義務(債務)を負擔せしむるに止まる契約債權を契約と申し、(即時賣買を完了する所謂現實賣買は債權契約ではないが大體以下說明する所と差別しません)双方が對價的關係にあるを双務有償契約と申します。而して賣買は此種契約の典型的なるものなるが故に、民法は賣買に關する規定は、性質の許す限り其他の有償契約にも之を準用することゝしました。

例へば手付は後述する如く、法律は賣買に關して規定してるにすぎないが、其他の契約にも用ひらるゝことは私達の日常目擊する所であります。

大凡契約の有效に成立するが爲には、單に双方の合意あるばかりで足らず、必ず可能確定(少くとも確定し得るものたるべし)及び適法の内容を有しなければならぬ。嘗ても述べた通り、契約自由の原則は、契約の内容について絕對無制限を意味しないのである。併しながら此等の條件に適する以上契約は全く自由である。從つて財産權は特に讓渡を禁ぜられたるもの〻外總て有效に賣買の目的とし得べく、且つ賣買は債權契約にすぎざるが故に、現在賣主自身に屬せざる財産權なるとも、將又將來發生すべき財産權に止まるも敢て差支ないのであります。

而して契約(約束)の成立する爲には、双方の意思の内容が一致しなければならぬ。客觀的に重要なる點(例へば代金及目的物)のみならず、主觀的に重を置く點(例へば買物を配達してくれるならといふ如き)についても合意を必要とします。客觀的には合意あるも内心異れる意思を有する場合、例へば或店で鍍金の指輪に五十圓の正札がついてるのを金の指輪と信じてお買になつた場合の如きがそ

れで、指輪其物の賣買については客觀的に合意が存するけれども、固よりメッキと知つたら買ふ意思がない故、茲に買主について錯誤の問題を生ずるのであります。不合意（誤解）の場合には契約は成立しませんが、錯誤の場合即ち表意者の認識と對象（事實）とに齟齬ある場合（誤認）には俄に同一に解するを得ないのである。

錯誤による意思表示を常に無效とする場合には、取引の安全を害すること夥しい、反對に常に有效とする場合には表意者に甚酷である。故に民法は、意思表示は法律行爲の要素（其内容中の要部にして普通人の有する利益の輕重により決す）に錯誤ありたるときのみ無效とし、然らざる場合には之を有效とし、以て個人の保護と取引の安全との調和を計つたのである。乍併、假令要素に錯誤があつても、表意者に重大なる過失（普通人の注意を怠る場合）がある場合には、表意者自ら其無效を主張するを得ないものと致しました。

而して賣買については、固より具體的の場合には種々の條件が重ぜられようが、一般には上述の如く或財産權の移轉及代金支拂を約するにより成立する契約なるが故に、此等の點（目的物及代金）につき合意あれば其他の附隨事項例へば賣買の費用、履行の方法等に關し未だ合意なきも、原則として常事者間に別段の定めなき限り、其契約の成立は妨げられません。

さて斯して成立したる賣買契約は、如何なる權利を買主に與へ如何なる義務を賣主に負擔せしめるのであらうか、我民法の大略を説明します。

先づ以て賣主は目的たる財産權利を買主に移轉する義務を負ふが故に、此義務の履行として買主をして法律上其權利の主體たらしむるに必要なる一切の行爲をしなければならぬ。從つて財産權が不動産などの如く其移轉を以て第三者に對抗する爲に必要なる登錄又は引渡等については、何等の定をしなかつた場合にも尚賣主は此等の手續完了に共力するを要し、又財産權が同時に物の占有を爲さしむる内容を有するときは、賣主は獨り財産權のみならず、同時

に必ず其物を引渡さなければならぬ。併し未だ引渡さない物が果實を生じたるとき、（例へば姙娠した牛の賣買をなし未だ引渡さない前に其牛が仔牛を産んだ場合）には既に其物に關する權利が買主に移轉せる場合と雖尚其果實（例へば仔牛）は賣主に屬するものとしました。勿論當事者間に反對の契約をなすことは差支ないが、何等の定をしなかつた場合に後に至つてゴタ／＼が起らないとも限らぬ故、法律は之を慮つて豫めかく定めたのであります。

尚又他人の物を賣る約束をした場合には、賣主は其權利を取得して之を買主に引渡さなければならぬ此場合双方共其目的物が他人の物なることを知れりや否やは契約の成立に何等の影響がない。（其賣主が他人の物と知つたら賣る意思なきことが表示上明かなるときは前述の法律行爲の要素の錯誤となり賣主は無効を主張し得ます。此點は即賣の場合も同樣である。）若此場合賣主が其權利を引渡し得ないときは、買主は契約當時其權利の賣主に屬せざることを知ると否とに拘らず契約を解除（破棄）して宜しい。但し之を知れるときは損害賠償の請求をなし得ない。是かゝる事實を知りつゝ買つた買主は同情すべき何等の理由なきが故に外ならない。

右の場合賣主も亦契約の當時其賣却した權利が、人のものなりしことを知らなかつた場合には、かゝる賣主については相當の保護を必要と認め、我民法は此場合に限り賣主も契約を解除し得るものとしたが、若買主も此事實を知らなかつた場合には之が爲に生ずべき損害を賠償することを賣主に命ずると同時に、若買主が之を知れる場合には單に賣却した權利は引渡し得ないとのみ通知して契約を解除して差支ないものとしました。

動産（土地建物以外のもの）の即賣の場合には、以上の問題なきのみならず、買主が其目的物の賣主に屬せざることを知らず且つ之を知らざるにつき過失なきときは、民法は取引の安全と社會生活の保安上引渡を受けると同時に其動産上の權利を完全に取得するものとして、買主に保護を加へました故、後に至つて賣主も眞の持主も如何なる方法によるも之を取還へすことが能きません。但し其目的物が盜品又は遺失物なるときは、被害者は盜難の時より、遺失主は遺失の時より二年間内においては現在の持主に對し其物の返還を請求することが能きます。併し買主が若し盜品又は遺失物を競賣又は公の商店其他市場に於て買受けた場合、又は其物と同種の物を販賣する商人より何事も

知らずに買受けた場合には被害者なり遺失主は買主の支拂つた代金を辨償した上でなければ取戻すことが能きません。

尙賣買の目的たる權利の一部が他人に屬する爲賣主が之を買主に移轉し得ない場合には、買主は常に其不足する部分の割合に應じて代金の減額を請求することを得、又此場合殘部のみなれば買主が之を買受けを欲しないときは、善意（其目的物の權利が賣主に屬せざる事實を知らざるとき）の買主は契約を解除し得るのみならず、損害の賠償を併て請求することが能きます。代金減額請求の場合に於て買主善意なるときも亦損害賠償を併て請求することが能きます。併し之等の權利を買主が行使するのには、善意の場合には事實を知りたるときより、惡意（初より權利の賣主に屬せざる事實を知れること）なりし場合には契約の時より、一年內に之を行使する必要があります。

それから目的物の數量を示して（例へば千坪といつて賣買した土地が實際には九百坪しかなかつたと云ふとき）賣買したる物が不足なる場合、物の一部が契約の當時既に滅失したる場合に買主が其不足は滅失を知らないときも、右と同樣の權利關係が認められます。次に目的物に隱れたる瑕疵ありたときは善意の買主は（例へば無疵と思て三越でお買になつた帶地が仕立の際疵物だつたことを發見したとき）之が爲に契約したる目的（契約上に表示せられたることを要す、但し、帶地などの如く目的の自明なるものは此限りにあらず）を達すること能はざる場合には、契約を解除し得べく、其然らざる場合には損害賠償の請求のみを爲すことが能きます。但し此等の權利は買主が事實を知つてから一年內に行使しなければなりません。玆に隱れたる瑕疵と云ふは、通常人の注意を用ふるも尙知ることを得ない瑕疵を云ふので、唯單に買主が知らなかつたと云ふ計りでは足りないけれども、賣主が其瑕疵を知ると否とに關係ありません。

元來目的物の數量の不足、又は性質上の缺點は夫自身常に法律行爲の要素に錯誤を生じたるものではないけれど、かゝる缺點ある場合には買はない筈の場合には明に缺點なきことを契約の要素とするが故に理論上要素の錯誤として無效とすべきだが（二六頁參照）賣買の場合には上述する如く特別規定あるが故に錯誤に關する規定は適用されません。（未完）

平和博覽會に際して

K・O生

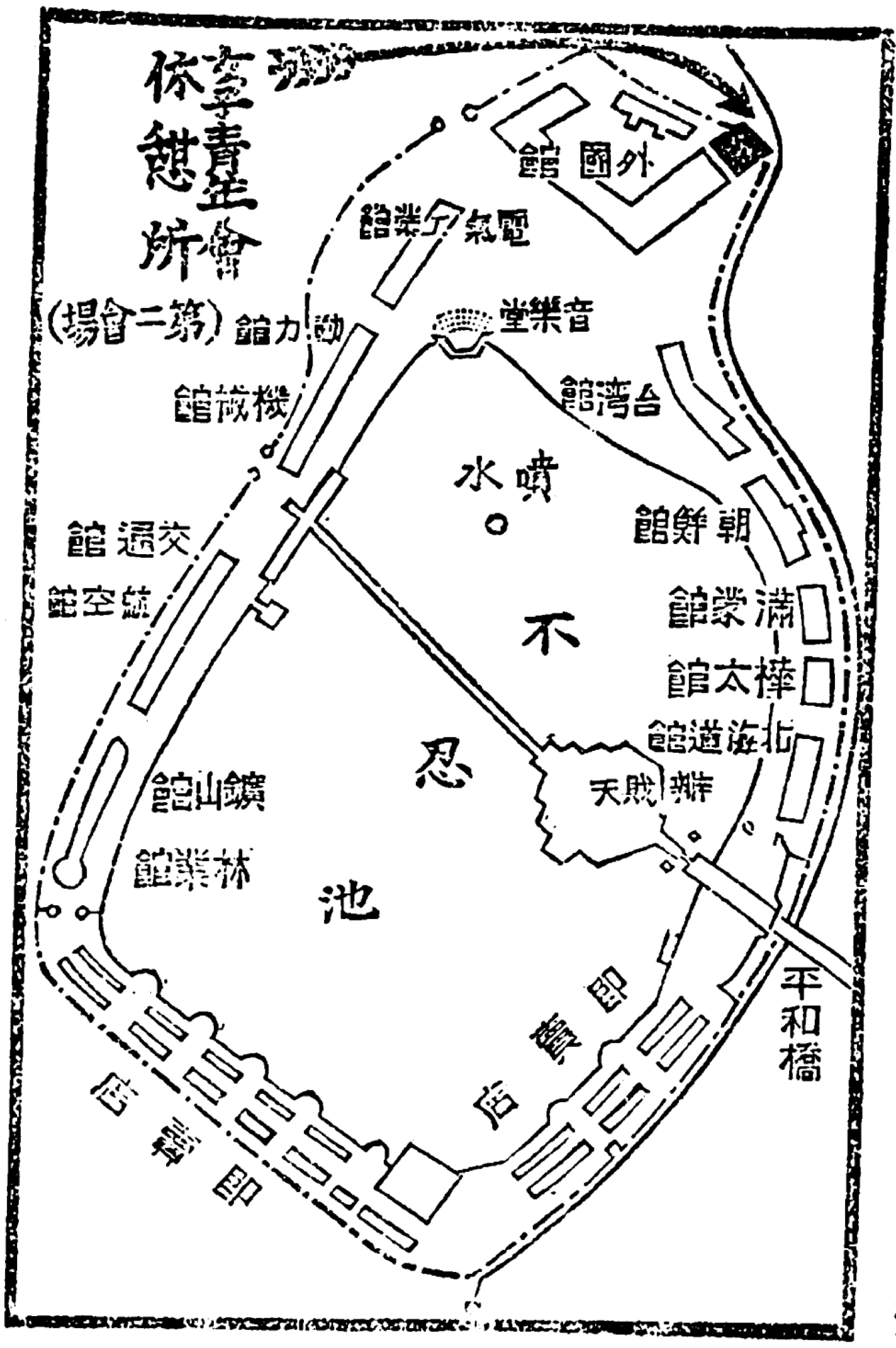
世界の平和を記念し併せて帝國産業の發達に資せんとする目的を持つて平和博は去る三月十日から開始されました。花の上野の四月は殊に繁ふことでせう、集つて來らるゝ人の中には不案內で困る人や心の重荷をもつた人も居らるゝでせう。こうした混雜の際、何かのよい奉仕がしたいとの願が婦人子供休憩所設置となつて現れた事は先月號の誌上で一寸申述べて置きました。

此擧の爲に少くとも二萬五千圓の資金の入用なこと之が爲に委員の方々及幹事の者殊に河井渡邊の兩氏ひたすら募金の爲に奔走され小時日間に一萬五千圓を與へられました事は感謝に絕えない次第です。今回の試の監督である、大江壽美子女史は語つて言はれるのに「餅を食べさせる事を思ひ過ぎて靈に食物を與へることを忘れるな」今回の試はたゞお茶やお菓子を賣るのでなくて、心の食物を皆樣にさしあげる所となつてほしい。多く同情ある方々から出して下さつた資金に對しても此擧を眞に有益なものにしたいと思ふ。募金に際して委員の働く樣子、己を捨てゝ神の爲に一生懸命に働く淸らかさと力の偉大さを眼前に見るにつけ、つまる所何事も神の力によつて爲す事は如何難しい仕事も出來ぬことのない事を深く感じさせられた。僅かの日數の內に一萬餘圓の金を與へられた事は不思議の攝理である神の惠と人の美しい心から得た寶を有益に正しく、靈の敎の爲に用ひたいと思ふ」と

十五日から休息所を開きましたが最初の日には二

時間程の間に百四十人からの人が立寄られ十三日には群馬の補習女學校の生徒の方々が卅人ほど同所で御持參のお辨當を食べられ女看守の人々も來られたり又小供の方々のお世話を申上るなど眞によい奉仕をさせて頂いて居ます。人事相談所を同館內に設けて地方から來られた方々なり西洋人なりに種々の御質問に應じ御便を計るつもりで居ます。又博覽會場に働いて居らるゝ女看守の方々の爲には母心をもつて此休憩の場所に迎へ出來る丈の慰めをしたいと存じて居ます。道に迷ふた方勞れた方經濟的に食事のしたい方、途方に暮れた人、靈の渴いた方、皆樣を手を擴げて待つて居ます。此休憩所へゐらして下さいませ。地方から御上京の女學生の團體方は前以て何人何日に來るとの御報があればお辨當の御用意も致して置かれると思ひます。お辨當御持參であればいつでも御遠慮なくゐらして御自由に食し且つお休み下さいませ。番茶は無料、紅茶十錢手製のお菓子廿錢サンドウヰチ四十錢果物十錢ジエリー十五錢コッイー十錢など賣つて居ますがお買ひにならない方も無論歡迎いたします。

第二會場路圖



七月卅一日迄の百四十餘日の間に、多くの方々が御便利を得られ、疲れた靈が慰められ、迷はんとする人が救はれますならば、喜んで御寄附下さいました人々、時も身も祈をもつて捧げて下した働人にと

つてどんなに喜びでせう。

老婆心ながら博覧會を利口に御覧遊す道を一寸書きますと、先づ第一會場の正門から右に廻り東京自治會館、園藝館、教育、社會館、蔬菜館、農業館、水産食料館、美術館を見萬國街の前を通つて引かへし衛生館に入り蠶糸館を經途中特設館を見建築館、第二染色館、化學工業館を通り、花壇を左に見ながら平和館に行き次に染織本館、製作工業館を見て裏に廻り平和橋を渡つて(廿錢)或は此橋を渡ずらに正門に引かへし平和塔を經て第二會場に行く、第二開場は道順が簡單で北海道館、樺太館、滿蒙、朝鮮臺灣館を經て外國館に入りそれを眞直ぐにつきあたる角に女子青年會の休憩所がありますから、こゝでお休み下さいまして夏ならばお顔をお洗ひ遊し元氣を回復して更に外國館の裏の陳列場から特設瑞西館を經電氣工業館動力機械館、交通航空館、林業鑛産館を見られ門を出て各府縣の賣店でお土産を求められ電車道へお出遊すのが一番要領を得た廻り方だと思ひます。第一日に何處から見てよいか知れなくて閉口した私はこれを皆かゝずには居られませんでした。案内略圖をかくつもりで居ました處版が間に會ひません爲第二會場丈の案内圖を右に掲げました。

イースター

あな嬉しラボニよと
涙の眼を擧げて主に近づいたマリヤ
私も同じやうに
イースターの此朝
見失ふた其かげを
心の眼にうつし度い

エマオの道へ急ぐ二人は
甦の主をむかへ
心の躍りに我主と知り
喜びにあふれたあの卓の上
私も同じやうに
今日の朝餐に主を迎へたい

疑の子のトマスは
主の傷口に手をふれて
主よ我主よと望に輝いた
私も其傷口に手をのべて
愛の深さを知りたいもの
白百合ほゝゑむ此朝

島の乙女

村岡花子

五

相變らず駒鳥日和が續いた、一週間の間、マーチとモレイは根氣よくフォーム島へ向けて艪いで出たが空は夏のやうに晴れ切つて仕舞つて、吹いて來る風は春のやう、海はどつちを向いて見ても、冬らしい風情は一つもなかつた。唯其處此處と島の土の上に倒れて居た蘆の枯葉と、遙かに聞える大西洋の潮鳴りの音丈けが冬の最中を思はせて居るのみであつた。

驚鳥も野鴨も狩獵地の近くへはてんで影を見せなかつた。マーチとモレイは終日、日向ぼつこをしながら、話をして居るより他には所在がなかつた。斯うして、來る日も來る日も獲物なしに濟んで行く中に、二人の間には知らず〳〵、美しい友情の蕾が花を咲きかけて來るのであつた。然し其の交りが果して何の位の程度迄進むかはマーチにも分らなかつたし、モレイにも何の考もなかつた。

マーチがあちらこちらと島の中を歩き廻つて、鴨を漁つて居る間、モレイはよく座り込んだ儘で、ウトリウトリと眠つたものであつた、或る朝の事、マーチが例に依つて島めぐるりをして歸つて來ると、モレイはウッラウッラと快げな眠をたどつて居た、丁度其の時、野鴨の群が彼女の鼻先から飛上つて逃げ出したが、それでも未だ眠から醒めなかつた。

日に燒けた、小さな手を片一方膝の上に載せて、座り込んだ儘のモレイの顏と首の邊りに太陽が温く照り渡つて居た。春の風のやうな柔い風が額に一筋二筋の亂れ毛を吹きなぶつて居る。空の方に額を向けて、スヤ〳〵と眠つて居る其の樣をマーチは繪にしても見せほしい思でヂッと眺め入つた。

正午が來たけれども、未だモレイは其の儘で眼を醒さなかつた。然し、ジョン、マーチの心の中には

今迄に覺えた事のない、あこがれの思が眼醒めて來た。マーチは自分ながら自分の心の變化に驚いた。どうしてこんな風な心持になつたのかと思ひ惑うた然し、何にしても、もはや昨日迄の單純な、友人に對するやうな氣持でモレイを見る事は出來なくなつて仕舞つて居た。彼は再びモレイの方を向いた。其の無心な様の美しさ、彼は止度もなく湧いて來るなつかしさの思を如何する事も出來なかつた。

マーチはモレイを知り度く思つた。彼女自身の口から、其の境遇を聞き度かつた。彼女の思想、彼女の望、彼女の趣味や嗜好といふやうな事を知り度かつた。

つひ此の間迄は何の知己でもなかつた此の娘、父親の長靴と獵衣を着た、此の謂はゞ自分の雇人の娘の身の上や嗜好にどうしてこんなに心が引かれるのか、それにはマーチも全く自分ながら理由は分らなかつた。

美しい髪の毛を風に任せて、造化の神の太陽の下で顔の隅々迄も照らされても、何一つアラの見當らぬ此の天然の美しさは迚も大都會の社交界に時めく貴婦人達の及びも附かない物だとマーチは考へた。

番小屋の棚から彈藥の袋が轉がり落ちた。モレイは眼を開いた、そして自分に向けられて居るマーチの眼と見合せて可愛らしくほゝゑんだ。それから一寸顔を赤くして、座り直した。

マーチは故意と澄して、「僕が此處へ歸つて來た時に鴨が十五羽逃げて行きましたよ。」と言つた。

「アラ、如何したらいゝでせう。私、ほんとに、惡うございましたわ。ほんとに、ほんとに、」と口ごもりながら、愈々顔を赤くした。

「其の他にも何か獲物を逃がしたでせうか？」とモレイは恐る／＼言葉を續げた。「何か他にも飛んで參りまして？」

マーチはモレイがこんなに困つて居るのを見ると惡い事を言つたものだと、心では頻に自分を責めながら、「否、其の他には何も來やしませんよ。」と慰め

た。マーチは水の上を見詰めて居た。

「ほんとに、申譯ありませんでした。噫、仕方が無い奴だと御思ひになつたでせう、これぢや案内人の役には立ちませんわ。どうぞ御怒りにならないで下さいましね。」

「僕が何で怒るものですか。あなたがお休みになれたのはほんとに結構だと思つてますよ。

　鴨が一寸迷ひ込んで來た他にや何一つ姿を見せやしませんでしたよ。木の葉一枚動きやしないんですよ。大丈夫、安心してゐらつしやい。」

「ぢや怒つてらつしやりやしないんですね？」

「何を怒るものですか」とマーチは笑ひ〳〵手を伸ばした。モレイは美しい笑顔でそれを受けて、自分も手を伸べて、快く握手を交した。

「では、ほんとに濟みませんでしたわ。立派に案内人の役目はつとまりますなんて申上げて置きながら何て仕様がないんでせう。」

「あなたは立派に案内人の役目を勤めて居るぢやありませんか。本職跣足ですよ。僕はあなた以上のいゝ友達は無いと思つてますよ。此の後だつて決して得られやしませんよ。」

「アラ、私はあなたの案内人ですわ。お友達だなんて行つて頂いちや、私の方が困つて仕舞ひます。ほんとにこんな案内役ぢや何にもお役には立ちませんわね。」

「あなたは僕と同等の立場に立つて下さるのがお厭なんですか？」

「厭だなんて、私にそんな考が御座いますものですかほんとに御親切だと思ひますけれど、私はあなたの案内人ですもの――でも然ういふやうに、見て下さるのはほんとに嬉しう御座いますわ。」

「然ういふやうにつて、どういふやうにです？」

「私はあなたの雇人の娘で御座いますのに、其の私を斯うやつて、同等の者とでも話してゐらつしやるやうに、取扱つて下さるのが嬉しいといふ譯でございますの。」

「僕はほんたうにあなたを識り度いんです。」とマーチが眞劍に言ふのをモレイは驚いたやうな表情で眺めながら、

「識り度いつて、私にはあなたの御言葉の意味が解りませんわ。」

「あなた方は――つまりあなたと、あなたのお父さんとジム君と、三人がですな、僕をあなたの所の客として考へて呉れる事は出來ないんでせうか？あなた方を訪問して來た友人といふやうな風に僕は考へて頂き度いんです。」

「それは又どういふ理由からなんでせう？」

「理由と言つたつて他にはありません――唯僕には何にもあなた方と違つた點はないからです。

あなたが婦人であり、ジム君が未だ若い少年だといふより他には何にも僕とあなた方姉弟と違つた所はない筈です。そりやあなただつてちやんと、解つておいででせう？僕は此處へ來て、あの最初の晩あなたの話を聞き、ジム君がラテン語の文法を勉强して居るのを見た時から、そしてあなた方のお母さんの寫眞を見た時から、僕は決してあなた方の主人なんどゝ言ふやうな者ではない、あなた方と僕との間には、そんな懸隔はあるべき筈ではないと考へたんです。あなた達姉弟を見、お母さんの寫眞を見ればもうお父さんといふ者の性格は逢はなくつても察しが附きます。ね、然うぢやありませんか？モレイは顏を上げて、マーチを見た。

「私共は初めから斯ういふ身分の者ではありませんでした。」

「ね、僕達は同等なんです。だから、然ういふやうな態度で對し合ふ事にしませう。ねえ、ミス、ヘロルド、それが一番自然でせう？」

モレイは灰色の眼をヂッと据えて、暫く思案して居た。

「ぢや、あなたはほんたうに、私と友人に成つて下さらうといふお心が御有りなんで御座いますの？」

靜かに斯う問ひながらも、彼女の唇は感情を制し切

れぬらしく震へて居た。

「然うです。」

「自分の雇人と友人になる人があるでしやうか？私は世間の事を知りませんが、ほんとにそんな人が世の中に在るでせう　？」

　マーチはそれには答へないで、突然に新しい質問を出した。

「あなたのお父さんは此の島へ來る迄は何をして居られたんです？」

　モレイは餘りに唐突な問に驚いて、一寸返事にまごついて居たやうだつたが、何時か頰には紅が上つて來た。「それは餘り立入つた御尋ねぢや御座いませんでせうか？」

「ヤツ、こりやあ失禮しました。全く惡かつたです。どうぞ赦して下さい。何も立入つて御尋ねしようなてん氣ぢやなかつたんですが、唯、僕の心は斯うだつたんです――つまり、どんな事情があつて、あなたのやうな方がこんな離れ小島に引込まなけりやならなくなつたにしても、此處に斯うして居ると言ふ事が決してあなた方の實際の價値を少しも變へないと言ふ事を言ひ度かつた丈けなんです。どうぞ氣に掛けないで下さい。」

「エヽ〳〵そんな事は何でも御座いません。實を申しますと、やつぱり私もあなたに、唯給料を頂いて居る案内人よりはもう少し價値がある者として見て頂き度かつたんですの。ジムだつて其の通りです。全くの話が私達には此の島は隨分淋しいんですの。此の五年間に、ほんたうに人に逢つたといふ氣持は今度あなたに御逢ひして初めて感じた事なんで御座いますから、どの位平常が淋しいか御解りになりませう？」

「エヽ、よく解ります。」

「ほんたうに此の私共の氣持が御解りになるでせうか？　私達は話がしたいんです――ジムだつてどんなに話がしたいか分りません。ほんたうの世の中に住んで居る人の話を聞き度いんですの、私達は。此

の島の人が不親切だつていふんぢやありません、それは〳〵親切にして呉れます。こんな離れ島の上に住んで居る人達ですもの、お互に随分よく面倒は見合ひます。」モレイは眞實マーチに向つて訴へるやうに言つた。「皆親切にはして呉れますけれど、私共は私共は、あなた方と同じやうな生活をして來た者なんですもの――時には堪らなく物足りない心持になりますの。」

　マーチは返事が出來なかつた。身に迫つて來る同情の思で、モレイの顔を見る事すらしなかつた。彼は非常に人を理解する力を持つて居る靑年であつたそれ丈けに此のモレイの寂漠の感じといふ物が身につまされて思ひやられたのであつた。

　暫くしてから、マーチはモレイに、曾ては彼女自身も住んで居た北部の都會の樣々な事柄を色々と話して聞かせた。初めの間は遠慮しながら、ぼつ〳〵と質問を出して居たモレイは段々に其の遠慮が取れるに從つて、樣々な事を尋ねたり、果ては自分から色々の批評などをもした――マーチは初めて、モレイの心の動きを見る感じがした。

　斯うして二人は水をも空をも忘れて、樣々の興味深い話に時を過した。年月自分一人の中に押込んであつたモレイの感情は言葉にほとばしつて出て來た。長い間、骨肉の者と話し合ふより他には、滿足な談話といふ物を他人と交す事の出來なかつたのが、今斯うして、他人で、自分の思ふ存分に話の出來る相手が與へられた事はどんなに彼女の若い彈力のある心を興奮させた事であつたらう。

　二人は天地間の有りとあらゆる事に就いて、互の意見を交換し合つたかと思はれる程、種々樣々な話に打興じた。

　海は鏡のやうに澄み渡つて動かなかつた。蝶鳥はみんな眠つて仕舞つた。二人は晝食の辨當を開いた。マーチが熱いコーヒーを勸めれば、モレイはサンドウヰッチを取つてマーチに勸めた。モレイの美しさは斯うした打解けた、無邪氣な親しみで一層にマー

チには美しく見えた。彼女の中にはいさゝかの媚も見えなかつた。賢い性質の中にも飽く迄も女らしい謙讓を失はぬ心、快活な一方には非常につゝましやかな所を持つて居る彼女はマーチと對して居ても決して多くの娘に見るやうな異性といふ者を意識して居る妙なはにかみからは全く離れて居た。彼女はほんたうに、一人の親しみ有る友人に對して居るやうな心持で此の青年に對して居た。

マーチの心の中は大分平靜を失つて居た。「自分は如何したら可いのだらう？ 此の娘を愛して居るのだ――どうしても此の娘の爲めに何かしてやり度い、此の人の弟の爲めにも、父親の爲めにも何をしてやつたら可いだらう？ 自分は此の娘を愛して居るのだ。」とこんな工合に、彼の心は騒いで居つた。（つゞく）

本部會計報告

御寄附金

金壹圓也（維持費一口二月分）　三輪田眞子氏
金六圓也（同　上　一回分）　長谷川喜多子氏
金壹圓也（同　上　二月分）　加藤高子氏
金拾圓也（本部負擔金）　横濱女子靑年會
金貳拾五圓也（維持費廿五口二月分）　河井道子氏
金壹百圓也（本部負擔金）　東京女子靑年會
金拾貳圓也（維持費一口）　原田ことち氏
金拾八圓也（同上三口第一回分）　青木豐子氏
金壹圓也（同上一口三月分）　三輪田眞子氏
金參圓也（同上大正十、十一、十二月分）　淺井治子氏

特別會計　（指定御寄附）

金九拾圓也（ロシヤ飢饉救濟のた　）　女子英學塾靑年會
金五百拾五圓也（中歐學生救濟のため）　宮城女學校尙綱女學校靑年會
金拾圓也（同上）　白井長蔵氏
金拾圓也（同上）　遺愛女學校靑年會
金貳百貳拾六圓四拾壹錢也（同上）　ミス、マクレン

博覽會場內婦人休憩所の爲御寄附

（三月十八日迄の分）

金壹萬壹千五百貳圓也

東京基督教女子靑年會報告

會館部。　他團體の爲會館諸室貸與七回。
食堂（二月中）晝二二四名。夕食二八八名。參觀者

として米國大使。合衆國よりの北京大會出席代表者八名。サタデーイブニングポスト主筆ミスタマーカソン。

一般報告。　三月十日。十一日の兩日に渡りて「平和と軍備撤廢」につき英國のハヂキン博士の講演ありたり。

主催者。婦人平和協會。婦人矯風會。女子青年會。出席者は十五程の婦人團體代表者なり。

三月十八日。卒業生を主賓としての親睦會。

教育部。（イ）四月より酒井愛子姉は主に女子英語商業科をミスレーシーと擔任し傍ら編物。生花。音樂の諸組の責任を有する事になりたり。

（ロ）新に星野はな子姉を英語科主任として迎ふ。而て諸組の內容を充實し其の發展を計る。同姉は女子英學塾出身者にして五ケ年間官立學校にて教鞭をとらる。

（ハ）教育部委員を置き上代たの子氏を委員長とする第一回。三月十三日午後六時新學期の方針等の相談ありたり。出席者。ミスハートッホン。石川靜子。辻浪子。津荷夫人。石上房子の諸姉。

寄宿舍。　兩寄宿舍々生にて卒業する者二十四名。大西絹子姉は家庭の事情にて辭職さる。姉は明治四十三年十一月より今日迄十二ケ年間慈母として專心舍生を指導愛育されその功多大にして私共一同最大の感謝を捧ぐ。姉を失ひて途方に暮れたる本會はまた片岡みつ子姉を與へられたり。同姉は遺愛女學校出身。結婚後日淺くして夫に別れローサンジエル市にて家庭館の母として四ケ年活動され後一ケ年シカゴにて學ばれたり熱心なる信仰の人ときく。

三月十五日。安藤坂寄宿舍にて大西姉と卒業生の送別會を開く。

商工部。（イ）二月二十八日午后五時半和泉橋慈善病院看護婦招待會を開き出席者二十五名。

（ロ）二月二十三日午後六時半。衛生講話井上友子先生出席者五十名。

（ハ）三月十一日午前、小名木川工場訪問。

家庭部。□、二月廿七日、雛祭料理實習會。一ノ戸先生出席者二十七名。

(ロ) 三月九日午後一時。西洋服につき最近歸朝の福岡安子女史の講話。室内遊戯豆スープ試食會。出席者四十餘名。□、二月十七日午後二時、講演會。小崎千代子夫人歸朝土産談にて。内容豐かにして。有益なき面白きお話、出席者四十名。

神戸基督教女子青年會報告

去る二月廿六日萬國學生祈禱日には神戸市基督教青年會に合併して祈禱會を開きました、市内男女學生青年會員百數十名が一堂に集ひ織田安子先生と日野原牧師の御奬勵に耳を傾け、心よりの祈禱を捧げました。

ガールスウオークでは本月中に家政女學校生徒のクラブと英語の組生徒のクラブを組織しました、各クラブ共來る廿五日のバザーの爲によい奉仕の機會を與へられ仕事會をなし人形、袋物の製作をしたり或は當日の食品店の手傳等準備中です。

教育部諸組は本月廿五日を以て一週間の春休として來るべき學期の準備をします。

有職婦人クラブの木犀、プリンセスは合併で一會員の印度に行かるゝ送別會を催し歡を盡しました、來る三月廿五日に維持費の爲にバザーを開きますので祈りつゝ準備をして居ります。

大阪基督教女子青年會報告

定例の行事を省きまして特別の事だけを御報告申上ます。(大正十一年三月十六日)

○音樂會。二月二十五日夜豫定の通り市民館で開催しました。會員方の熱心な助力により豫期以上の盛況にて滿員の有樣でした。今日迄の計算では純益參百八拾圓で御座います。來會社五百五拾餘。同夜委員を始め若い會員達が接待其他の勞を快くお取り下さいました事は何より嬉しい事でした。

○ビクラン女史講演會。三月八日夜男子青年會と

聯合で開きました。

○白木屋招待會。　當市白木屋女店員を二夜に分けて招待しました。狹い會館を廣く使ふ工夫がミスレーガンの頭腦から巧く考へ出され、不充分な設備ながら來會の人達に喜と滿足とを與へる事が出來ました。最初の夜は八十一名、翌夜は九十三名の方々を迎へました。いつもながら會員方の助力は多大なもので、之なくしては到底當夜の成功は期し得なかつたのです。

○讀書會。　追々充實したものになりつゝあります十八日の土曜日午後一時半からの例會には法學士松澤重人氏が「新國家論」を紹介して下さる事になつて居ます。

○奥樣の集ひ。　二十日午後二時から開きます。當日は最近歐米から歸朝せられ「歐米を巡りて」の書を公にせられた石田美喜藏氏のお話があります。

京都基督教女子靑年會報告

先月から每月一回づゝ開く計畫の集會は女學生等のための會にて先月は府立第一高女同志社女學校等の生徒が大勢集り學校に由つて異つた紙の帽子をかぶつて各種の競技を致した事でございます每度同じ事をせず活動寫眞をみせたり時候の好き時は遠足會を催す考です、學校の休暇であるのを幸ひ三月三十日には琵琶湖畔の膳所に當會の小さき別莊がありますので其所へ各女學校から二十五人づゝ略百人程で遠足に出かける計畫です、二月二十六日の萬國學生祈禱日には當會館にて男子學生等と一緒に集合を開きハンガリー人ガイツリー氏と男子靑年會の幹事グラフトン氏の講話がありました、七十二人の出席者でございました、三月四日市公會堂に於ての聯合婦人大會の際當會より小兒洋服を展覽するやうにとの事にて一日中、乳兒より十六七歲位までの女子及び男子の服を下着から靴から一切陳列しミスペーヂは二千人の聽衆に小兒洋服についての要點を述べられました。

英語の組を増加いたすにつれ教師の不足を感じて居りましたが先月から幸ひ二人の姉妹が毎週二回づゝ應援されますので大助かりでございます佐伯忠子氏と宇高春子氏で御兩人とも英語教授に多大の興味を持て懇切に教へて下さいますので生徒等も喜んで來つて居ります。

靜岡英和女學校靑年會報告

凡のものが夢を見て居ました冬の折も過ぎまして又樂しい望に滿ちた春が訪れてまゐりました。そして自然は神を讃美して梅はほころび初め鶯は樂しげにないて春を告げにまゐりました。花や鳥は春の來ましたのを告げて居りますが私共靑年會では新年度の役員及び部長を選擧致しましたからそれをお知らせ致します。

會長　山本まつ　　書記　杉本つる
副會長　齋藤千代　　會計　有原千代・土屋菊世
宗敎部　鹽澤靜江　　誘導部　堀　瀧榮
矯風部　村松勝子　　販賣部　土屋とし
仕事部　松山たつ　　社交部　大場すゞ
豫備科
宗敎部　島　ちゑ　　誘導部　滿岡ちか
仕事部　鎌田よし

日一日と向然が美しく望みにみちて參ります樣に靑年會もます／＼其事業に神の御力が加はります樣に祈つて居ます。

尙絅女學校靑年會報告

先月宮城女學校と一諸に音樂會を十四、五の二晩第一日は宮城、第二日目は尙絅の講堂で催しました其頃當地に色々の會があつた爲め思つた程入場劵は賣れませんでしたが兩校合併の始ての會としては割に盛會の方だつたらうと思ひます。此の會の爲めに先生方も色々お手傳下さいましたし委員、會員も皆一生懸命に働いて下さいました。此の時の利益は皆本部へお送り致しましたから中歐學生の爲めと先生方の御都合の良いやうにお用ひ下さいませ。

先月の廿六日には東北學院專門部の講堂ではじめ

て男子青年會宮城女學校青年會と一諸に祈禱會を致しました。大學の二三人の先生方の御奨勵の御言葉がありそれに續いて皆様の熱心なお祈が御座いまして尚々勇氣と力とを與へられました。廿八日には河井先生がいらして下さると言ふ事を伺ひ皆で大變に待つて居りましたが色々の御都合の爲先生にゐらして戴くことの出來なかつたのはほんとに〳〵殘念で御座いましたが其内にきつと先生もゐらして下さることゝ信じて其時の與へられる事を樂しみに待つて居ります。河井先生の代りに横澤先生がゐらして下さいましたが先生もお忙しくゐらつしやいましたのでゆつくりお話しする時もなく委員のみ先生とお話し致しました。一寸の時では御座いましたが色々横濱などのお話を伺ひほんとに嬉しう御座いました。二月廿一日火曜日に役員委員の改選を行ひましたから御知らせ致します。

大正十一年度役員

會長　吉川その子　　會計　高野　のぶ
副會長　中目　かつ　　書記　山内とし子
集會部長志賀ちよの　　社交部長内ヶ崎　泉
誘導部長小原玻磨子　　音樂部長青木　とよ

今年こそ私共のベストを盡して神の御導きのまゝに幾分なりとも青年會の御働きをお助け致したいつもりで御座います。

遺愛女學校女子青年會

我が青年會にては二月廿六日の萬國學生祈禱會の準備として二月廿三日の放課後講堂に於て祈り會を開催致しました。出席者百名ばかりで御座いました。二月廿六日宗教部主催のもとに祈禱會を午後三時から講堂に於て開きました。其時に巡廻傳道師多辻先生の血をもつて買はれたる身、2神の宮、3神の榮光を現すと言ふ題のもとにお説教が御座いました。大變私共にとつて有益な話でした、同窓生及び通學生の方々も出席致され多くの方々の祈が御座いました。非常な有益な祈禱會で四時に牧師の祈禱をもつて閉會致しました。

神様は私共の眞心から祈るお祈を確かにお聞きあそばし下すつた事と信じて居ります。本部の上にます〳〵神の御手が加へらるゝ様にお祈り致して居ます。

金城女學校女子青年會報告

昨年の事を申上げますのは何だかをかしうござい

ますが去りし年の九月二十三日廿四日當校では専問部建設の資金を得るのため未だ曾て試みたこともないバザーを催しました始めてではございましたけれども會員一同の我身をさゝげてそのために力をそゝぎましただめ總べて順當に運ばれました、この二日間にも朝九時から四時まで客は引きりなくをしよせて手をゆるめる暇もございませんした。そして豫期しなかつた利益を與へられました、實に之も神の御恵と深く感謝するの外はありませんでした。

この催があつて間もなく今まで青年會の顧問をなすつていらした我校長はアメリカへ御勉學の爲むかはれスマイス先生がその後をおうけてつぎになりました、十月中旬には森先生金井先生をお招きいたしまして傳道のお説教をお願ひいたしました。

十二月廿四日午前十時よりクリスマス祝會を開き晝食を共にし午後より種々面白き餘興が行はれました。

今年二月十四日十五日岡崎のフルトン先生をお招きいたしまして四回に渡つて傳道説教をお願ひいたしました、我等充分心の糧をあたへられにぶれる信仰を再び燃え立たしめる事が出來ました。

又二月の初めシベリヤの着るに衣なく飢餓に苦しんでゐるあはれな人々のため私等は衣服或は女房具を集めました、そして之を我が同胞に送りました。

つぎに私等唯今役員となつてゐますのは今年の三月をもつてこの校を卒業いたしますので去る三月一日新役員を全校生徒(即ち、全會員)を以て改選いたしましたそしてすかり新役員の方々におゆずりいたしました。

ほんとに神は力なき私共を今までこの働きのためお用ひ下さいました事を感謝して居ります。

益々此青年會の發展を見るやう祈つてやみません

新役員　會長加藤鈴子、副會長田代あや子、會計征矢野みち、書記青柳龍子、講演、山村こう共務藤原みち、慈善、豐田とし、以上七名

山梨英和女學校女子靑年會報告

新春と共に御一同様ますく御發達の御事心より一同お祝ひ申上ます陽氣ゆるみまして、木々若草は貯へられた養分を或は葉に、或は花にと十分に送りまして、天地は今眞に甦りました。私共の靈も働きももう一度新しき生命を得て、賊との甦りを總べてが望み給ふを直接にも感ずるのであります、當會は生れて僅かに三ケ年に過ぎず、從つて發達も鈍きもの

です、然し御盡力の元に一つの御靈の御前に、御事業の一端に活動の出來得ます、事は身の幸と感謝に堪へません。私共喜びを分たん爲に新年早々に有志の者のみにて、甲府市内に於ける日々に、困窮に泣く數十軒の人々に、身を裂きて得たる若干物を携へて見舞ひ、當孤兒院及び癩病院等にも幾分の送附をなし、却つてその人々より、眞心からの感謝の賜物をうけて、眞の意味に於ける社會との觸接を尙一層計る覺悟を與へられました。

當會內におきましても、體、德、知、社交育の發達に務め、毎水曜には諸先生の御講演を願ひ一週を重ねる毎にその効果の現はれるを謝すのでありますす

傳道部　安息日の汚點なき朝毎に、祈禱會を開き、個人的に使命を感じ、一段の努力を得て、一週の源はかゝる會より流れ出でまた、限りなき御靈にはぐまれる身の豐當なるに何れも意溢れて、口に、又は手に、現はさない者はありません。

社交部。毎月最後の金曜の夜六時よりその月々に於ける當寄宿舍生の誕生日會をを催し、餘興等に先んじて、再び廻り來れるその月の深き御旨の存するを決つして偶然新事ならざるを强覺する爲に、殊に誕生日献金箱を順次に廻して謝入するを例と致しまする通學生の間に於けるも亦其の樣に、一入の親密さを味ふに餘りあります、これは、あらゆる方面に有益に使用されてゐます。

矯風部。販賣部其他も協力して、其のよき戰ひをたゝかはん事を務めてゐます。

女子英學塾靑年會報

去る二月役員の改選を致しまして新しい希望をいだいて一歩づゝ進んで居ります。御卒業の方々の送別會を廿二日に開くことになつて居ります。只今は北京におくる代表者のため、また例年通り地方から受驗のため御上京の方々で當地に親しいお宅のない方を寄宿にお世話するために準備をいたして居ります。新學期から聖書の組と圖書部とを一層充實させ樣と計畫して居ります。

大正十一年度役員

會長	豐田　志津	圖書	大内　千代
副會長	天野　モト	同	多賀　いく
集會部	宮崎　妙子	販賣部	北　淳子
社交部	三輪田良子	同	笹尾　あや
會計	久保　タカ		
書記	山本　政子		

消息

□河井道子、ミスゼンスコット、辻まつ子、長谷川喜多子、渡邊百合、志立ナナ子、豊田静子、稲井榮子、小山イダの 諸姉は 支那にて開かる學生大會へ出席さるゝ筈

□星野はな子氏。英學塾星野愛子氏の姪にあたらるゝ 同姉は四月より東京青年會英語科主任として就職

□大西絹子氏。十二ヶ年間安道坂女子青年會寄宿舎の舎監として盡力されし同姉は御家庭の事情のため三月をもつて辭職されたり。

□片岡みつ子氏。 大西舎監の後任として同氏を安道坂寄宿舎に迎へたり。

□大泉文子氏。東京青年會の英語の先生たりし 姉は此度岩城氏と結婚され三月十七日御渡米

□北原遊子氏。 同氏は本年お茶の水女學校卒業生の 一人なるが去年夏期修養會の時改悔の決心をされ去る三月十一日受洗されたり。

□釜屋壽子氏。 東京青年會員の同氏は三月二十二日栗原信一氏と結婚さる。

□ビットカン氏。 同氏は東京の諸學校及諸團體、横濱、仙臺、 京都大阪神戸其他の所にて萬國基督教學生同盟會の 趣意並に使命を述べられ三月上旬渡支。

□イサッカ、マーカソン氏。 同氏はニューヨークのサタ－デーイーブニングポストの記者にて三月 上旬來朝、 ミススコットとミスパードサル兩人は帝國ホテルに早朝訪問なし同氏を 同道し小石川ニトベ邸にて朝食を共にす。 河井道子、ミススコット、加藤高子、ミスカフマン坂本花代、渡邊百合、ミスパードサル、 岡崎小文の 諸氏共に朝餐をなす。 數日の後再びマーカソン氏は女子青年會を 訪ねられ本部及東京青年會を見殊にミスフエリス 指導の下の體操の組を見て大なる印象を受け女子青年會の記事をサタ－デーイブニングポストに 書くと話されたり。

□ヂョージ、ラッド夫人 同氏は數回國際親交會の催しに出席さる。

□ウキールライト夫妻、最近ポートランドより 來朝されし方々にして女子青年會の親しき友人なり同地に於て 日本の方々にして同夫妻の饗應を受けたる人少からず。此御兩人を主客 として國際親交會は樂しき催しをなしたり。

□ドクター、ヘンリー、ハドキンソンは三月十日、十一日の兩日「平和と軍備撤廢」につき講演され、 十五團體よりの代表者出席なし各種の質問をなしたり。

□萬國學生祈禱日。 男子青年會と 聯合にて美土代町青年會館に於て催す。河井氏司會の下に森明氏、 川尻正修氏 マダムセラピトガン其他の諸氏の有益なる奬勵あり東京女子大學生の 美しいクワイヤー數人の熱心なる祈禱あり盛會なりきたゞ祈の 前に多くの人々の退場されしは遺憾なりしもかへつて眞に 祈りせんとの人のみが殘り實に於てよき會をなす來會者三百餘人。

□中西司娜子氏。最近の御手紙に「日本に 歸りました後は出來得るかぎり手足となつて御手傳さして頂きたいと 存じます。日本、米國支那、印度、ヨーロッパ、アヂア、 アフリカなど丶世界の事を毎日考へさせられますのも外國へ來たお蔭だと存じます。「現今の世界はヨーロッパ文明の一人舞臺である。數千年昔の印度、支那、 エヂプト、アッシリア等の文明は死んだもので 價値のないものであらうか。これらの文明作をり出した人間が再び文明を 作り出す力がないと誰かいひ得るか、數千年後には今日の此西洋文明が如何様に批評されようかなどと毎日繰返して考へて居ります。二十世紀の 西洋文明の力の偉大な今日西洋以外にて一人獨立國を誇つてゐる日本の 使命は何でせうか早く日本國民が精神的に目さめて日本の爲、世界の爲永遠的の貢獻を致したいものと願つて居ります。」

新刊紹介

「英米現代の文」著者舟橋雄

本書は劇、小說、詩の三部門に渉り英國、愛蘭、米國の三國に渉り現文壇に生命あるすべての作家を網羅し各作家の思想系統、作品の內容及將來の豫想を丁寧に紹介したものである。

其國に於ける近代劇の消息、英國現代小說界の分野。英國詩壇の趨勢。愛蘭文藝復興。米國現代の劇壇。米國小說の現狀。米國に於ける新詩の勃興。其他附錄として廿九人の作品名高きものを一つゝつ梗概を擧げてある。讀みたい人の爲に

定價金參圓貳拾錢

東京市日本橋區大傳馬鹽町十八
發行所　明誠館書店

編輯の後に

四月十六日復活祭（イースター）の喜ばしい日を迎へやうとして居ます。澤山の花の咲き出る頃、殊に白百合のさゝやきが、姿が美しくも眼に浮んで純潔と祈との生活をシンボライズしてる樣な、希望の光の輝き、喜のときめきを覺えます而し之に先だつて受難の週（パッションウィーク）を守り、且つ憶へる事は更に意味深いものでせう。勝利の日曜日から始つた一週、キリストの御生涯中最も出來事の多かつた日は今年は四月の九日から始まる一週間にあたります。主の御教訓、御苦しみ、計りも得難い愛の深さを靜に考へ、十字架のもたらす使命、昔も今も信仰をもつて仰ぎ見る者に光とさゝやきを與ふる其御聲を各々の胸に聞きやがて晴れやかに來る復活の曙をねむりし木々の目醒めと共に歌ひつゝ迎へたいものです　（小文）

備考

一御注文は一切前金に願ひます
一御送金は振替でお拂込み下さる事が便利で安全です。但手數料一錢をお加へ下さい。郵便切手代用は
一割增
振替東京二三七二三番

定價郵税共	內地	海外
一部	金貳拾錢	金貳拾四錢
一年前金	貳圓	金貳圓五拾錢

廣告料		
一行	金五拾錢	四分一頁 金五圓
半頁	九圓	全頁 金拾五圓
年極又は回數により割引有		

大正十一年三月廿八日印刷納本
大正十一年四月一日發行

神田區錦町一丁目十六番地
發行兼編輯人　河井道子

東京市芝區櫻田和泉町七番地
印刷人　前川吉治郎

右同所
印刷所　三成舍

神田區錦町一丁目十六番地
發行所　日本基督敎女子青年會
電話神田三六五二番
振替口座東京二三七二三番

The best thing of all about the things we have been doing lately is the esprit de corps that is very surely growing among the girls who have been coming to the building more or less regularly for a long time. They are showing it in the way they rally to help anything undertaken by and for the Association, and have such a good time doing it.

KYOTO

On the 4th of March the Kyoto Y.W.C.A. joined with the United Womens' Societies in Kyoto in a mass meeting of women in the city auditorium. Various questions relating to women were discussed and the Association had an exhibit of foreign clothes for children, showing complete outfits of clothing for babies, children and young girls. The secretaries of the Association have been asked to help in selecting the foreign uniform for two of the largest schools in the city.

Ninety-seven girls and young women were present at the three group meetings led by Miss Nishino of Osaka recently at the Association rooms.

A joint meeting of the student Y.M.C.A's and the students in the Y.W.C.A. was held on Sunday, February 26, the Day of Prayer for Students. There were seventy-five present and the meeting was addressed by a Hungarian who had been a war prisoner in Russia and afterwards in Association work in Siberia and by Mr. Grafton, foreign secretary of the Y. M. C. A. This was the first union meeting we have held in our own rooms.

A very successful student party was held last month when representatives of three high schools of the city were present. It has been decided to make the student party a monthly affair in future, so that Association girls may know a definite time when they can bring their friends and be sure of some special program of entertainment.

The new Cabinet of the Doshisha Student Association was recently entertained at a luncheon at the home of the foreign secretaries. Miss Scott,our foreign National secretary was present and after lunch various plans for the next year's work were discussed.

Miss Yamazoe, one of the Kyoto girls who has recently graduted from the college department of the Doshisha Girls School is going to Tokyo to attend the Training Class for secretaries this Spring, We hope to have Miss Yamazoe back here again in the fall for Girls Work in the Kyoto Association.

Miss Scott, our foreign National Secretary visited the Kyoto Association recently and while here attended a conference on church cooperation, a Board meeting and a conference with the Doshisha Association.

Miss Michi Kawai, our National secretary, made a very brief visit to Kyoto recently with Mademoiselle Bidgrain, secretary of the Worlds Student Christian Federation. Mademoiselle Bidgrain spoke at a meeting after the English service at Kyoto Church on Sunday afternoon and at the Doshisha Girls S hool. She also visited the Imperial University and other instirtutions of the city.

world's secretaries of the Student Federation, came to Kobe and met groups of leaders of students, and of Kobe College students, for discussion of student needs. The great need of more work for students, and of a special worker for them, was evident.

The sensation of the March Board meeting was its vote to lend Miss Onomi to the National Committee for the peace Exposition Y.W.C.A. for April and May. We shall be short-handed here, but all are willing to work harder in order to be able to help the National in this way. The Board also agreed to begin industrial workin May, according to Mrs. Wood's recommendation.

Miss McGregor has been suffering from lumbago, and went to Tokyo on March 8th for treatments with Dr. Read. We have word that she is much better and will return soon. Miss McGregor is to lead the next Kwansei Staff meeting on English Teaching Standards.

Two future events are now being prepared for: the annual Bazaar, on March 25th, — and an Easter Sunrise Song Service, in which churches, Christian schools, and both Associations are to unite. There will probably be four hundred singers, and all the people in the City, especially the students of all the schools, are to be invited to share in this Festival — to understand that Christ is Risen and Alive and that all may find Resurrection in Him.

OSAKA

The concert planned and carried out almost entirely by the younger members of the Association was a great success, — one of the city auditoriums being filled with guests, the program being fine, and the proceeds more than satisfactory. The best thing about it was the fine spirt of all the folks who helped.

The Board has decided to hold a finance campaign for a dormitory building from May 1-10, amount desired ¥ 50,000. Plans are starting with membership parties for education and social intercourse, with hopes of finding our one hundred or more workers for the campaign days.

An Industrial secretary has been called to the Osaka staff, and we are living in high hopes of having Otowa Takabatake, an Osaka Association daughter, who graduates from Woman's Christian College, and then takes the Association training course in May before coming to us.

In the middle of the month we gave two evenings to entertaining the girls from Shirokiya Department Store. Tokyo Association introduced us to this store. Thank you, Tokyo. Our building is too small for all at one time, but by taking one hundred at a time, and having one part of the program upstairs and the other downstairs, then changing the girls and repeating the program — we managed beautifully. The girls of the cooking class prepared the supper for over one hundred people both nights, and enjoyed it so much the first time that they came two hours earlier the second time and added cakes to their former bill of fare.

the Board of the Tokyo Y. W. C. A. gave a short talk to the girls on what it meant to be a member of the Club and also of the Association, and to join in helping to spread the light of the abundant life around the world. In closing all sang together the "Hymn of the Lights."

The new Educational Committee with Miss Jodai as Chairman met this month to make plans for the English Department for the coming term. Mrs Hoshino, a graduate of Joshi Eigaku Juku with sev.ral years' experience in teaching, is going to take charge of the department, and arrangements are being made for a special course three mornings a week for graduates of High Schools.

The evening of the 18th the Athletic and Star Clubs entertained some of the nurses of the Mitsu Charity Hospital at supper and at a musical afterwards.

Under the auspices of the Woman's Peace Society, the W.C.T.U. and the Y.W.C.A., Mr. Hodgkins frow England spoke two afternoons at the Association on the subject of "Disarmament." About seventy were present each time, and after each talk opportunity was given for discussion and questions.

A closing rally for the girls in the Educational Department was held on Saturday, March 18th. Mr. Tsurumi spoke on his recent trip abroad and very kindly stayed for an hour or more after the meeting, answering the questions the were eager to ask him.

KOBE

There are now seventy-two girls in girls clubs. During the last month Miss Chappell has started new clubs for the Kasei Jo Gakko girls, a group which Miss Onomi had previously had in a Bible class, for the morning class girls, and has organized the nurses club.

The Neighborhood Club Leaders had their first regular leaders meeting on Marchist, a luncheon at the building, and after discussion each took responsibility for starting up again after the cold weather the work of her own district. Mrs. Kimura, the chairman of the group, is very activə and responsible in working with the others, and is at present devoting herself especially to starting a club in the central district.

On February 26th, the Day of Prayer for Students, the YMCA and YWCA combined in a meeting for students at the YMCA Building, addressed by Rev. Hinohara and Miss Oda, who had both attended Student Volunteer Conventions in America, and who passed on the fire of expectancy of a Student Volunteer Movement for Japan — not for foreign but for home service. There were many earnest prayers at the meeting, and the sense that it would be the beginning of something more in the future. In the evening the church services in ten churches were taken by students, Kobe College furnishing seven, and Kwansei Gakuin about twelve, as speakers in the interests of the student world.

Later, on March 9th and 10th, Mlle Bidgrain, one of the four

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume 19 MARCH 1922 Number 4.

NATIONAL

On March 15th, five days after the opening of the Peace Exposition at Ueno Park, the Association opened its Rest Room and Tea Room for Women visitors at the Exposition. This represented very hard work on the part of the National Committee and the Japanese staff and others who were helping, because it had not been possible to make definite plans for the work until about a month before the time of opening of the Exposition. It was estimated that the building to be erected and the work to be carried on would cost about Yen 20, 000. ($10,000.) To date over Yen 15,000. has been raised, the building has been entirely paid for, and the funds for maintaining the work are still coming in.

The building is a simple one but is very attractive and has plenty of space in it for rest rooms, information desk and tea room. And already, in one week's time, the value of the work as a service to women and girls, has been demonstrated. As soon as the building had been opened, girls employed in the various exhibits and concessions began to come in, and one day there were about three hundred served in various ways. Many of these girls bring their lunches to the rest room and have a short rest time there.

Active work with the girls has scarcely been started, but the plan is to have clubs, classes, parties and so on as there may be need for these things. There will be a staff of about ten workers who will be in charge of making plans and carrying on this work. Mrs. Oye of the National Committee is the chairman of the general committee in charge of the work. The secretaries of the Tokyo local and the national staffs are giving their time and Miss Hisa Onomi, general secretary of the Kobe Association, has been released by the Kobe Board to take charge of the club work and other work with girls during the time of the Exposition, which will continue until July 31st.

TOKYO

After many months' planning, self-government has been started in the Nandomachi dormitory, and the initiation of the New Star Club took place the evening of Sunday, March 5th. After supper the guests assembled in the living room, and the girls marched in singing and holding unlighted candles in blue and gold papers, the colors of the club. Miss Kato, the General secretary, read the thirteenth chapter of First Corinthians, after which the girls lit their candles at the large Association candle, and repeated the purpose of the club, which was to promote a Christian atmosphere and fellowship, and also to bring about closer relations with the Association. The constitution was read and each girl received a copy, and had the club colors pinned on. Miss Bosanquet, one of the members of

哲理と人生

帆足理一郎著

▼哲人聖者は高峰の如く、群山を拔きて天表に聳へ、能く宇宙を達觀して、人生の神秘を穿つ。彼等が靈的生活の經驗は凝つて哲理の一大殿堂を築き、其美其妙、衆庶を魘いて茲に拜跪せしむ。偉なる哉哲人！オイケン、ベルグソン、タゴアの名聲、我が讀書界に喧傳さるゝもの旣に久しうして猶能く彼等が幽玄深奧なる哲理の靈覺に參する者少し。吾れ素と淺學菲才、敢て其任に堪へずと雖も尙一片耿々の念に驅られ、茲に現代大哲の代表的偉作數篇を評論し、彼等が思想の粹を擷み意を詳かにし。兼ねて又哲理の人生に於ける職能を略述し、終りに現代思潮の急先鋒たるプラグマチズムに於ける人生觀宗敎觀の如何なるものなるかを結論的に附加し、以て人生の諸問題に思ひ惱める青年諸君が冥想的修養の一餐に供す。

七版

四六判函入 三八〇頁餘 定價金貳圓 送料十三錢

トマス・アケンピス著
中山昌樹譯

基督に倣ひて

■四六判天金四百五十頁 ■定價金參圓

聖アウガスチヌス

懺悔錄

▼定價 二、八〇
▼郵稅 、一二

古今東西に亘りて偉大なる人物の深刻なる靈的體驗の記錄は、其數少からずと雖も、其中にありて嶄然頭角を顯はし、歲月の進むと共に愈光輝を增して加へゆくは聖アウガスチヌスの懺悔錄と本書とである。此二書は實に世界を通じての信仰修養の双壁である。トマスアケンピスは七十年の長日月を修道院と一僧房とにありて孤獨と沈默とのうちに送り、密室の祈禱と瞑想とに浸り徹底的に内面生活を辿つた。その怖ろしき迄に高く且つ深き信仰經驗を記したのが本書である。己が靈魂の核心に透徹することは即ち萬人の心に透徹することである。トマスの白熱的信仰は本書を通じて凡ての人の心を把握し、此を聖きもの高きもの永遠なるものへと拉し去らねば止まぬのである。

發兌元 振替口座東京二〇一九一四 東京市麴町區隼町廿番地 洛陽堂 （目錄往復葉書進呈）

童話集 鈴蘭

廿年間『子供のお友達』で押通し、現に我が子に迄父としてよりはお仲好のお友達として愛慕されてゐる著者が、祈りを籠め心血を注いで『子供の幸福のために』との赤心から著したのが本書童話集『鈴蘭』である。五十餘種のお話は何れも教訓と笑みと慰めとに滿ち、恰かも鈴蘭の芳香が地上をパラダイスの歡境に變ぜしむる樣に、これを讀む子供の心を天使の心靈にまで引上げずには置かない。實に兒童圖書中の一大權威!!

高崎能樹著

新版

四六判三百頁餘
洋裝美本挿畫入
定價壹圓九拾錢
郵送料六錢

科學より觀たる 信仰の本質

歐洲大戰と云ふ火鐵の洗禮を受けて、地球上の思慮ある人々は、眞實の味意に於ける神と人とに立ち歸らんとして居る。神國實現の第一歩として今や軍備縮少會議は米國に開催されつゝある、此の時に當つて世界第一流の物理學者たるロッヂ氏の科學的信仰論は、苟も現代及び將來の人類の向ふ所を知らんとする者、父兄たる者が取つて以て子弟教育の資に供せらるゝならば少なくとも現今我國に瀰漫しつゝある病的思想を幾分にても除く事が出來てやがては靈と肉との融合一致の時代を見るであらう

オーバー・ロッヂ著
大野芳麿譯

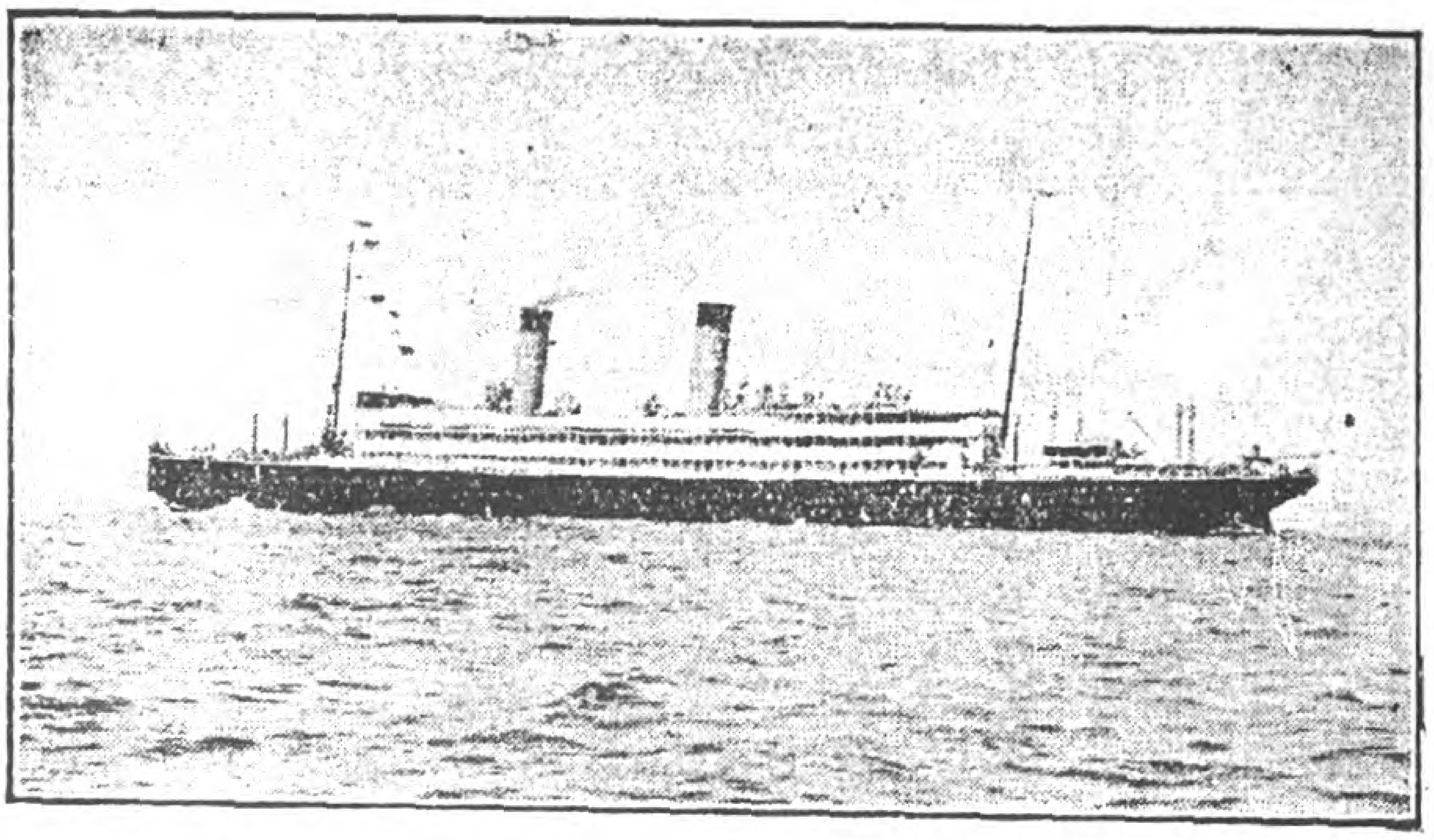
新版

四六判二百頁畫入
定價壹圓九拾錢
郵送料八錢

發兌元　東京市麴町區隼町廿番地　振替口座東京二〇一九一四　洛陽堂　（電話九段九六六番）


百萬圓でも
君の強健な其の胃の腑を百萬圓出すから僕に賣つて呉れ給へ……と言はれた處で是ればかつかりは出來ない相談。けれども茲に良法あり、金廿錢を投じてホシ胃腸藥を求め常に服用試みられよ。如何なる胃腸の患も直に治つて百萬圓でも買へない強健な胃腸に忽ちなれる
胃病良藥
ホシ胃腸藥
▲定價 金五十錢 一圓 試用金廿錢▼
東京京橋南傳馬町
星製藥株式會社

東洋汽船株式會社



本社　東京市麴町區永樂町一丁目一番地（電話 丸ノ內 一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三番）

營業所　橫濱市山下町五番（電話 本局 四四〇〇、四四〇一、四四〇二、四四〇三、四四〇四番）

出張所　神戶市海岸通七番地。香港、キングス、ビルヂング。上海四川路ノース、チャイナ、インシユランス。ビルヂング。マニラ、チャコビルヂング。桑港、マーケット街六五二、マーチャンツ、ナショナル、バンク、ビルヂング。紐育、ブロードウエイ、一六五。ホノルル、アレキサンダー、ヤング、ビルヂング。

北米航路
（桑港、布哇ホノルル、橫濱、神戶、長崎、上海、マニラ、及香港間）

本航路は太平洋航路中氣候溫和、海上平穩なること第一にして船舶の巨大、設備の完全、待遇の懇切とに由り航海最も安全且つ愉快なり

	排水量
大洋丸	二二、〇〇〇噸
天洋丸	同　二二、〇〇〇噸
春洋丸	同　二二、〇〇〇噸
コレヤ丸	同　二〇、〇〇〇噸
サイベリヤ丸	同　二〇、〇〇〇噸
波斯丸	同　九、〇〇〇噸

さいべりや丸波斯丸は往復共大連に寄港す

大連航路の偉觀なり

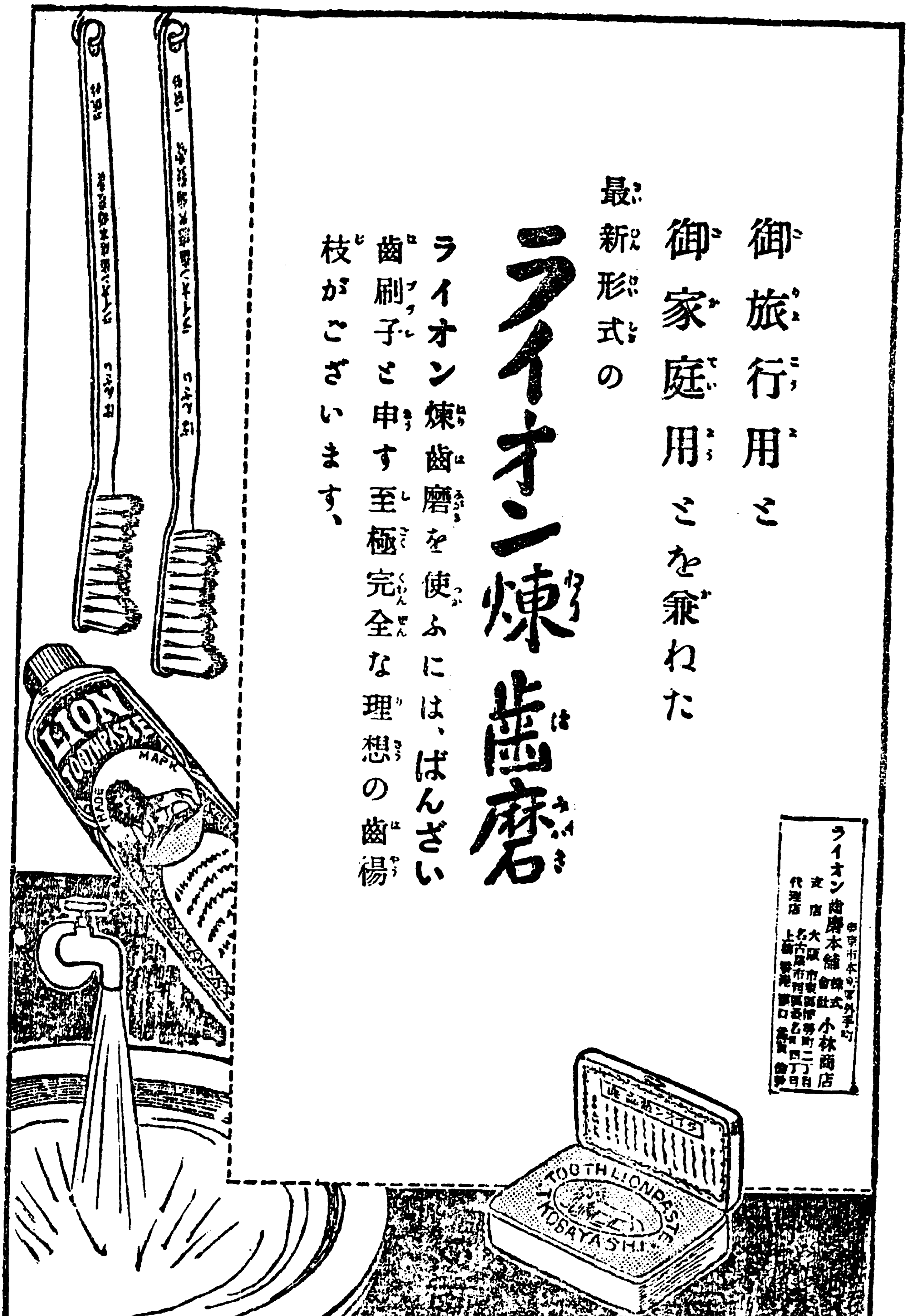
南米航路
（香港、門司、神戶、橫濱、布哇、桑港、羅府、墨國、巴奈馬、秘露及智利諸港間）

本航路は東洋南米唯一の定期航路なり

	排水量
安洋丸	一八、七〇〇噸
銀洋丸	同　一六、〇〇〇噸
樂洋丸	同　一八、五〇〇噸
靜洋丸	同　一四、〇〇〇噸

各寄港地及各國樞要都市に代理店の設備あれば船室保留並に發着日割等は最寄に就て御問合せを乞ふ

女子青年界第拾九巻第四號（毎月一回 一日發行）
大正十一年三月廿六日印刷納本大正十一年四月一日發行明治卅七年五月七日第三種郵便物認可



一部定價二十錢